OLYMPUS®

ボイストレック
DM-1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。



この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告



本機で指定されてない電池を使わないでください。



充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。



火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。



古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を使わないでください。



電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

⚠警告



電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告



万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① 火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

AC アダプタについて

⚠**警告**

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠**警告**

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

⚠**警告**

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

⚠**警告**

プラグ先端の⊕、⊖をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

⚠**警告**

落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

⚠**警告**

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠**警告**

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠**注意**

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。

⚠**注意**

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差込が不完全なまま使用しないでください。

使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。

火災や感電の原因となります。

本機について

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠警告

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

⚠警告

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば

— 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
— 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⚠警告

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池およびACアダプタを抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告

航空機内や病院などで使用を禁止された場所では使用しないでください。
電子機器や医療用電気機器に影響をおよぼす場合があります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示にしたがってください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

目次

主な特長

本商品は以下のような特長を備えております。

- **本格的な「デジタル音声レコーダー」機能に加えて、「デジタル音楽プレーヤー」機能を搭載（→ P.15）**
- **専用ソフトウェアの「DSS Player」と「Music Match MP3 JUKEBOX」（以降 MP3 JUKEBOX と表記）を 1 つに収めた「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」を付属**
  - 本機で録音した音声ファイルをパソコン上で再生・管理できる「DSS Player」や、音楽 CD から曲を MP3 や WMA 形式に変換して取り込んだり（リッピング）できる「MP3 JUKEBOX」を使うと、本機の楽しみかたがグンと拡がります。
- **付属の専用 USB ケーブルでパソコンとの高速データ転送を実現**
- **外付け型のスマートメディア用カード・リーダ／ライタとしての活用も可能（→ P.83）**
- **ドットキャラクタ表示を採用した見やすいバックライト付き大型ディスプレイ（液晶表示パネル）を搭載**

音声レコーダーの特長

- **DSS（Digital Speech Standard）形式の音声ファイルとして録音・再生が可能**
  - 音声をデジタル変換し、高能率圧縮した DSS 形式の音声ファイルとして記録できます。
- **2 種類の録音モードが選択可能**
  - 標準モード（SP モード）と長時間モード（LP モード）が選択できます。（→ P.30 ）付属の 32 MB スマートメディアの場合、SP モードで約 5 時間 5 分*、LP モードで約 11 時間* の連続録音が可能です。別売の128 MBスマートメディアを使えば最大約 44 時間 40 分* の連続録音が可能です。

  ＊ 1つのファイルを連続で録音した場合の録音可能時間です。小刻みに録音を繰り返した場合、録音可能時間がこれよりも短くなることがあります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）
- **3つのフォルダにそれぞれ199件、合計で最大 597 件の録音が可能（→ P.26）**

● **フォルダ名を入力可能（→ P.40、41）**

- 3 つのフォルダにはそれぞれ 8 文字以内の名前を付けることができます。

● **録音した音声ファイルをフォルダ間で移動可能（→ P.42）**

● **音声起動録音（VCVA）機能搭載**

（→ P.28、29）

● **インデックスマークの記録と消去が可能（→ P.39）**

- ファイル内の聞きたい位置を素早く探せるように、録音中または再生中にインデックスマークをつけることができます。

音楽プレーヤーの特長

● **MP3とWMA形式の音楽ファイルが再生可能**

- MP3やWMA形式の音楽ファイルをインターネットからダウンロードしたり、付属の「MP3 JUKEBOX」を使って音楽CDから曲を取り込んだりして再生できます。
- 付属の32 MBスマートメディア1枚で、約30分〜60分の音楽データを収録できます。（収録時間は記録する音楽データのビットレートにより異なります）

● **マルチデコードシステムを採用（→P.87）**

● **WOW を搭載（→ P.72、73）**

- SRS Labs,Inc. の音響複合技術であるWOWを搭載しています。WOWを働かせることで「自然な立体音場感」、「豊かな低音」、「輪郭のはっきりしたクリアーなサウンド」を同時に得ることができます。

● **再生イコライザーの切り替えが可能**

（→ P68）

ご使用になるための動作環境

DSS Player、MP3 JUKEBOX 基本動作環境

対応パソコン：DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）

OS（オペレーティングシステム）：Microsoft Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional
（以降 Windows 2000 と表記）

CPU：MMX Pentium 166MHz 以上（Pentium Ⅱ 266MHz 以上を推奨）
CD-R を使用する場合および、Windows 2000 でご使用の場合は、Pentium Ⅲ 以上
（Pentium Ⅲ 433MHz 以上を推奨）

RAM 容量：32MB 以上（64MB 以上を推奨）

ハードディスク空き容量：50MB 以上（この他に音声ファイル用、音楽ファイル用の空き容量が必要）

ドライブ：16 倍速以上の CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ

サウンドボード：Creative Labs Sound Blaster16 または 100%互換のサウンドボード

ブラウザ：Microsoft Internet Explorer Ver 4.01　SP2 以上

ディスプレイ：SVGA ビデオボード（High-color（16 ビット）以上）

USB ポート：１つ以上の空き

オーディオ入出力端子：マイク入力端子、スピーカー出力端子

マウス、またはそれに類するポインティングデバイス

CDDB または音楽配信関連サイトへアクセスする場合は、インターネット接続が使用できる環境

インターネットによるストリーム再生をする場合は、Microsoft Windows Media Player 7 以上

ご注意

- NEC PC-9821 シリーズのサポートはしておりません（PC-9821 をお客様でクロックアップやメモリ拡張したものを含みます）。
- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95 から Windows 98/Me/2000 にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

【 MP3 JUKEBOX 録音環境 】

録音用CD/DVDドライブ：必須（16倍速以上のCD-ROMまたはCD-R、CD-RW、DVD-ROMドライブ）

[デジタル録音時]
ASPIドライバ：必須
CD-ROM：デジタル抽出（Digital Audio Extraction）対応のもの
SCSI接続の場合：デジタル抽出対応のSCSIカード
USBおよびIEEE1394接続の場合：対応ドライブについては住友金属システムソリューションズホームページをご確認ください。

[アナログ録音時]
S/P DIF接続の場合、サウンドボードとCD-ROMドライブが内部接続されている必要があります。

【 CD ライティング環境 】

ライティング用CD-R/RWドライブ：CD-R/RWライティング時必須（対応ドライブについては住友金属システムソリューションズホームページをご確認ください）

ライティング対応フォーマット：ISO9660/CD-DA(音楽CD)

ご注意

- パソコンがUSBポートを備えていても、Windows 95からWindows 98/Me/2000にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。
- 本製品以外のCD-Rで作成した音楽CDからのデジタル録音は動作保証外です。
- CD Extra、Mixed CDのように、CD-DAフォーマット以外のフォーマットが組み込まれている音楽CDからのデジタル録音は動作保証外です。

シリアルナンバーおよび解除キーについて

（MP3 JUKEBOXのみ）
インストールの際、パッケージ版ではそれぞれシリアルナンバーが必要になります。
シリアルナンバーは、ユーザ登録カードに記載されています。万一、紛失またはキーが通らないといったトラブルが生じた場合は、トラブルシューティングをご覧ください。

前バージョン（Ver 2.5x.xxx 、Ver4.xx.xxx ）の日本語版とMusicMatch社で販売されている英語版のシリアルナンバーおよび解除キーは使用できませんのでご注意ください。

取扱説明書の表記について

本書では次のコンピュータを想定して解説しています。お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- 1台目のハードディスクをCドライブとして解説します。
- 1台目のフロッピーディスクをAドライブとして解説します。
- 1台目のCD-ROMドライブをDドライブとして解説します。
- Windows 98 で使用しているものとし、Windowsのインストール先のパスをC:\Windowsとして解説します。

また、お客様がWindowsシリーズの基本操作に慣れていることを前提にしています。

パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。分からない用語については、「用語の説明」をご覧ください（→ P.88）。

スマートメディアについて

スマートメディアとは

着脱可能なIC記録媒体です。フロッピーディスクよりメモリ容量が大きく、パソコンとのデータのやりとりに便利です。着脱可能なのでデータの保存にもお使いいただけます。

本機で使用できるスマートメディア

付属の 32 MB のスマートメディアで容量の足りないときは、別売のスマートメディアをお求めください。
本機では下記のスマートメディアがご使用になれます。

電圧：3.3 V もしくは 3 V

メモリ容量：4 MB*、8 MB*、16 MB、32 MB、
64 MB、128 MB

デジタル音楽プレーヤーとしてお使いの場合は、著作権保護の関係上、ID 機能のないスマートメディアはご使用になれません。

* 現在市販されている 4MB、8MB のスマートメディアの多くはID 機能がありません。

ご注意

- 市販の 5V タイプのスマートメディアはご使用になれません。
- デジタル音声レコーダーとしてお使いのときは、著作権保護の機能は働きませんので、ID機能なしのスマートメディアもお使いいただけます。

スマートメディアのメモリ容量と録音時間のめやす

音声レコーダーとしてお使いの場合*

メモリ容量	ＳＰモード	ＬＰモード
4MB	30 分	1 時間 10 分
8MB	1 時間 10 分	2 時間 35 分
16MB	2 時間 30 分	5 時間 20 分
32MB	5 時間 05 分	11 時間 00 分
64MB	10 時間 20 分	22 時間 10 分
128MB	20 時間 50 分	44 時間 40 分

* 録音時間とは、1 つのファイルを連続で録音した場合の録音可能時間です。小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれよりも短くなることがあります。

音楽プレーヤーとしてお使いの場合**

メモリ容量	記録可能時間
16MB	12 分 ～ 30 分
32MB	25 分 ～ 60 分
64MB	50 分 ～ 2 時間
128MB	1 時間 40 分 ～ 4 時間

(ビットレート 160 kbps ～ 64 kbps の場合)

** 記録可能時間は記録する音楽ファイルのビットレートにより変化します。同じファイル形式の場合、ビットレートが大きいほど音質は良くなる反面、1 枚のスマートメディアへの記録可能時間は短くなります。

スマートメディアの取り扱い上の注意

スマートメディアをご使用になるときはお客様の大切なデータを破壊、消失から防ぐために以下のことを必ずお守りください。

本機が録音、再生、消去、初期化などの動作中には絶対にスマートメディアを抜いたり、電池を取り出したり、電源アダプタを抜き差ししないでください。
行うときは停止ボタンを押して本機の動作を終了させてから行ってください。

SSFDCフォーラム＊に準拠しない製品（一部のMP3プレーヤーなど）でスマートメディアを使用しないでください。
以後本機では一切使用できなくなることがあります。

＊ SSFDCフォーラムとはスマートメディアの規格、標準化を進める団体の名称です。本機はSSFDCフォーラムの推奨するフォーマットを用いています。

スマートメディアは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。

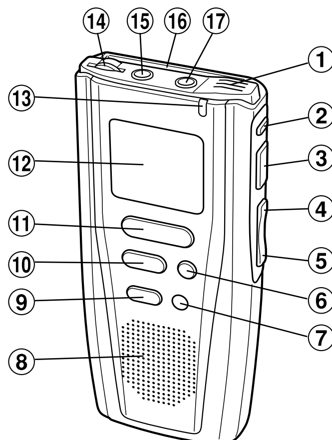
高温多湿な場所での使用、保管は避けてください。

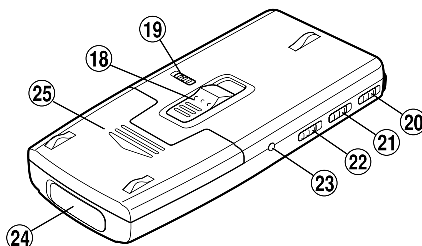
スマートメディアのコンタクトエリア（金色の電極部）には直接手をふれないでください。
汚れたら乾いた柔らかい布などで拭いてください。

スマートメディアは静電気によるデータの破壊を受けることがあります。携帯するときは付属のケースに入れてください。
また、大切なファイル（データ）はパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

破壊、消失あるいは消去されたデータは復旧できません。
データの取り扱いには十分ご注意ください。

各部のなまえ



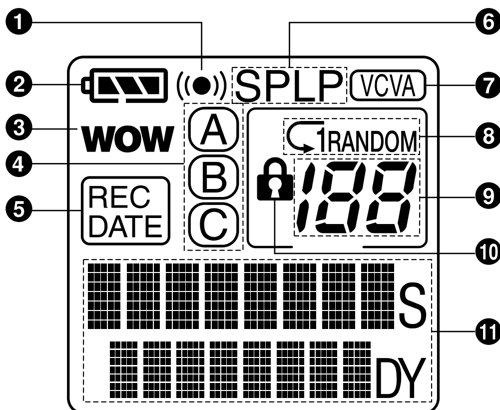


① 内蔵マイク
② フォルダボタン、リピートボタン＊
③ 再生ボタン
④ 早送り / ＋ボタン
⑤ 早戻し / －ボタン
⑥ インデックスボタン、
　EQ（イコライザー）ボタン＊
⑦ 消去ボタン
⑧ 内蔵スピーカー
⑨ メニューボタン
⑩ 停止ボタン
⑪ 録音ボタン
⑫ ディスプレイ（液晶表示パネル）

⑬ 録音 / 再生表示ランプ
⑭ 音量つまみ
⑮ マイクジャック
⑯ スマートメディア挿入口
⑰ イヤホンジャック
⑱ スマートメディア取出しスイッチ
⑲ 電源 / ロックスイッチ
⑳ モードスイッチ
㉑ マイク感度スイッチ
㉒ ホールドスイッチ
㉓ 電源ジャック
㉔ パソコン接続（USB）端子
㉕ 電池ぶた

＊印は音楽プレーヤー、下線つきは音声レコーダーとしてご使用になるときに限り有効となる機能、ボタンです。

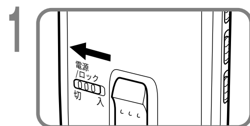
ディスプレイ（液晶表示パネル）について

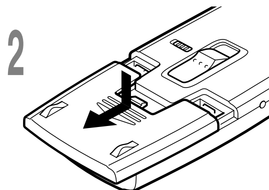


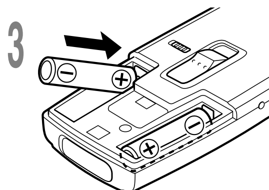
❶ アラーム表示
❷ 電池残量表示
❸ WOW 表示*
❹ フォルダ表示
❺ 録音日時（REC DATE）表示
❻ 録音モード表示
❼ 音声起動録音（VCVA）表示
❽ リピート、ランダム再生表示*
❾ ファイル番号
❿ 消去ロック表示
⓫ 情報、警告表示部

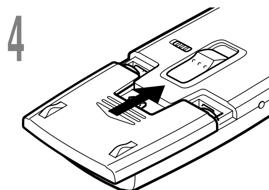
*印は音楽プレーヤー、下線つきは音声レコーダーとしてご使用になるときに限り関係する表示、マークです。

乾電池を入れる

1


2


3


4


1 本機の電源／ロックスイッチを「切」にする

2 矢印部分を軽く押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

3 単4形乾電池(2本)の⊕と⊖を正しい向きで入れる

4 電池ぶたを完全に閉める

乾電池を交換するめやす

電池の残量に応じてディスプレイの電池残量表示が次のようにかわります。

 →  →  → 

「BATTERY LOW」

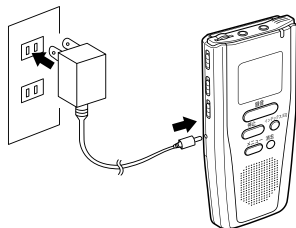
ディスプレイに マークが表示されたら、なるべく早く新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、ディスプレイに「BATTERY LOW」が表示され、動作が停止します。交換の際はアルカリ単 4 形乾電池の使用をおすすめします。

ご注意

- 電池の交換は必ず本機の電源／ロックスイッチを「切」にしてから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、音声や音楽ファイルが再生できなくなる恐れがあります。
- 電池を交換するときは、必ず 2 本とも新しい電池に交換してください。
- 3 分以上電池を抜いたときは、内蔵充電池を使い切ってしまい、再び電池を入れた際に時刻の設定が必要になることがあります（→ P.16、17）。

AC アダプタを使用する

AC アダプタ A324（別売）を家庭用電源のコンセントに差し込み、プラグを本機の電源ジャック（DC3V）に接続します。AC アダプタのプラグは､必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。電池で録音中にAC アダプタのプラグを差し込むと､録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

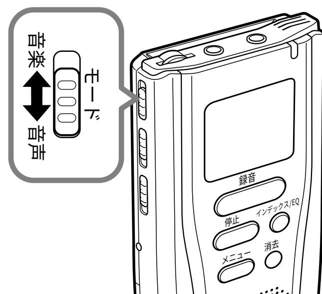


⚠警告

- 極性の違うものや出力電圧が 3V 以外の AC アダプタは、絶対に使用しないでください。
- ACアダプタA324は日本国内専用です。外国では使用しないでください。
- AC アダプタは誤った使い方をすると破損したり､火災や感電の原因になりますので､必ず専用のACアダプタA324を使用してください。
- AC アダプタは、本機を停止状態にしてから取り外してください。
- AC アダプタをお使いになったあとは必ずコンセントから抜いてください。

音声レコーダーと音楽プレーヤーの切り替え

本機は音声レコーダーと音楽プレーヤーの 2 種類の機能を備えています。
使用目的に合わせてモードスイッチを切り替えてください。



モードスイッチで｢音声｣か｢音楽｣を選ぶ

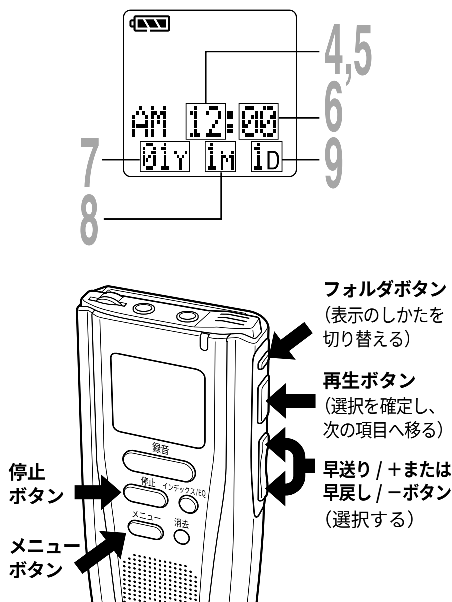
音声 ....用件を録音・再生するとき
音楽 ....音楽ファイルを再生するとき

日付・時刻（TIME & DATE）を合わせる

日付と時刻を設定しておくと､｢いつ録音した｣という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。またアラーム再生を行うときに必要です（→ P.78、79）。

ご購入後初めてお使いになるときや、長い間お使いにならないで電池を入れたときは、自動的に「時」表示が点滅します。次の手順４から設定をしてください。

日付・時刻の設定画面



日付・時刻の設定をかえるには

1 電源／ロックスイッチを｢入｣にする

2 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります(→P.43、76)。

3 早送り/＋または早戻し/−ボタンを押して日付･時刻の設定画面を選ぶ

TIME &
DATE

4 再生ボタンを押す

｢時｣表示が点滅し､日付･時刻の設定を始めます。

- 時、分の設定中、フォルダボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

（例）午後 5 時 45 分の場合

PM　5：45 ⟷ 17：45

5 「時」を設定する

① 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「時」を設定します。

② 再生ボタンを押して、「時」を確定します。

6 「分」を設定する

① 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「分」を設定します。

② 再生ボタンを押して、「分」を確定します。

7 「年」を設定する

① 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「年」を設定します。

② 再生ボタンを押して、「年」を確定します。

- 年、月、日の設定中、フォルダボタンを押すたびに年、月、日の順番が切り替わります。

（例）2001年6月20日の場合

01 Y　6 M　20 D
↓
6 M　20 D　01 Y
↓
20 D　6 M　01 Y

8 「月」を設定する

① 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「月」を設定します。

② 再生ボタンを押して、「月」を確定します。

9 「日」を設定する

① 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「日」を設定します。

② 再生ボタンを押して、「日」を確定します*。

10 停止ボタンを押す

日付・時刻の設定を完了します。

スマートメディアが挿入されていないと、「INSERT CARD」とディスプレイに表示されますが、しばらくすると現在の日時の表示にかわります。

* 「日」を確定したときから本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて再生ボタンを押してください。

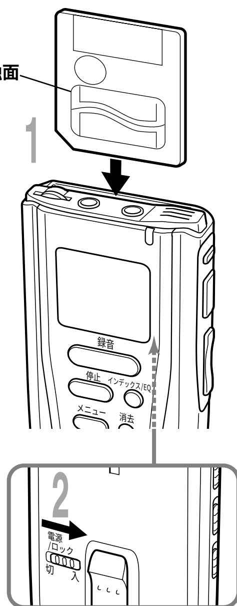
ご注意

設定の途中に停止ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

スマートメディアの出し入れ

スマートメディアを入れる

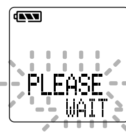
下の図のような向きに合わせてスマートメディアを挿入口に入れてください。



1 **スマートメディアを正しい方向に入れる**

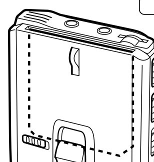
2 **電源／ロックスイッチを「入」にする**

ディスプレイが表示されます。



完全に挿入されているとき

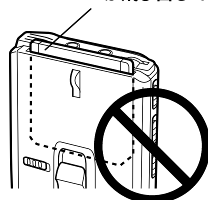
電源／ロックスイッチを「入」にすると、「ピピッ」と鳴り*、ディスプレイに「PLEASE WAIT」表示が数秒間点滅します。



挿入が不完全なとき

電源／ロックスイッチを「入」にすると、ディスプレイに「INSERT CARD」表示が数秒間点滅します。この状態でいずれかのボタンを押すと「ピピピピッ」と鳴り*、「INSERT CARD」表示が再度点滅します。

スマートメディアを奥まで押し込んでください。

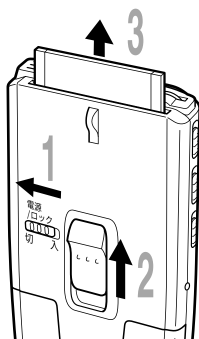


* ビープ音が設定されているとき

ご注意

- 初期化されていないスマートメディアを入れた場合は自動的に「FORMAT YES?」と表示されますので、初期化してください（→ P.82）。
- スマートメディアは本機で初期化したものか、またはオリンパスデジタルカメラ「CAMEDIA」シリーズで初期化したもの以外は使用しないでください（→ P.82）。
- スマートメディアには表面と裏面の区別があります。接触面を図の向きでスマートメディア挿入口に差し込んでください。

スマートメディアを取り出す



1 電源／ロックスイッチを「切」にする
ディスプレイが消えます。

2 スマートメディア取出しスイッチを押し上げる

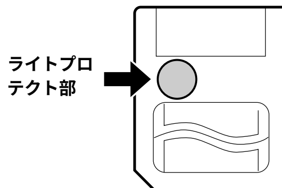
3 スマートメディアを指でつまんで取り出す

ご注意

電源／ロックスイッチが「入」になっていると、スマートメディア取出しスイッチは動きません。

スマートメディアの誤消去防止について

スマートメディアに付属の誤消去防止（ライトプロテクト）シールを貼ると、録音、消去、初期化ができなくなります。



大切なデータを誤って消さないためには、スマートメディアのライトプロテクト部に誤消去防止シールを貼ってください。
再び録音または消去するときは、誤消去防止シールをはがしてから使用してください。

ご注意

- 誤消去防止シールはライトプロテクト部からはみ出したり、浮きやはがれのないように貼ってください。
- 市販のラベルなどは貼らないでください。
- はがした誤消去防止シールは再利用できません。
- 誤消去防止シールが汚れていると誤消去防止機能が働かない場合があります。汚れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 本機以外の機器では誤消去防止シールが貼ってあっても、書き込みできる場合がありますのでご注意ください。

ソフトウェアのインストール

「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をお使いになる場合、パソコンにインストールする必要があります。本機とパソコンをUSB接続ケーブルでつなぐ前に、ソフトウェアのインストールを行ってください。
本機で音楽ファイルを再生するためには、必ずDM-1音楽ユーティリティ（MP3 JUKEBOX）をインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- フロッピーディスクドライブにディスクが入っている場合は抜いてください。
- ネットワークに接続してWindows 2000をお使いの場合は、Administratorに所属しているユーザ名でログインしてください。

1 Windowsを起動する

2 付属の「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をCD-ROMドライブに挿入する

自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順5に進み、起動しない場合は次の手順3、4にしたがって進んでください。

3 [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)...]を選ぶ

4 [名前(O):]に「D:\Setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックする

CD-ROMドライブがD:と仮定します。

5 「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」のオープニング画面が表示されたら[次へ(N)>]をクリックする

6 [使用許諾契約]

「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[はい(Y)]をクリックしてください。

7 [インストール先の選択]

「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」のインストール先を変更するときは[参照(R)...]を、変更の必要がなければ[次へ(N)>]をクリックします。

8 インストール方法に関する画面の表示

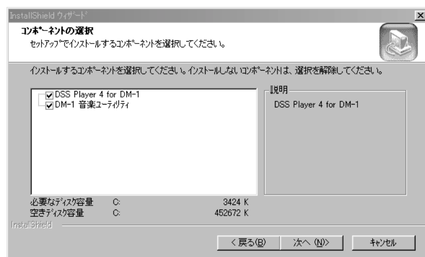
インストールするソフトウェアの選択をするときは[カスタム]を、DSS Player と D M - 1 音楽ユーティリティ(M P 3 JUKEBOX)の両方をインストールするときは[標準]を選択し、[次へ(N)>]をクリックします。[標準]を選択した場合は手順10に進んでください。

9 インストールするソフトウェアを選ぶ

必要なソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れ、[次へ(N)>]をクリックしてください。

DSS Playerをインストールする方は、[DSS Player 4 for DM-1]に、MP3 JUKEBOXをインストールする方は、[DM-1 音楽ユーティリティ]にチェックを入れてください。両方ともインストールすることもできます。

すでにDSS PlayerやMP3 JUKEBOXをインストールしてある場合、チェックボックスにチェックが入っています。チェックを外すとそのソフトウェアは削除されますのでご注意ください。



10 ファイルコピーの開始

現在の設定を確認します。よろしければ[次へ(N)>]をクリックし、フォルダやインストールアプリケーションを変更する場合は[<戻る(B)]をクリックし、変更してください。

11 [Olympus DSS Player4 for DM-1セットアップ]が表示されたら[次へ(N)>]をクリックする

[カスタム]を選択した方でDSS Playerのチェックを外した方は、手順11〜18は必要ありません。手順19に進みます。

(次頁に続く)

12 **[使用許諾契約]**
DSS Playerをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[はい(Y)]をクリックしてください。

13 **[インストール先の選択]**
DSS Playerのインストール先を変更するときは[参照(R)...]を、変更の必要がなければ[次へ(N)>]をクリックします。変更しない場合は、C:\Program Files\Olympus\DSS Player4となります。

14 **[新しいフォルダの確認]**
インストール先のフォルダが存在しない場合、作成確認の画面が表示されますので[はい(Y)]をクリックします。

15 **[プログラム フォルダの選択]**
プログラムフォルダの選択ができます。変更の必要がなければ[次へ(N)>]をクリックします。

16 **[現在の設定]**
現在の設定を確認します。よろしければ[次へ(N)>]をクリックし、プログラムフォルダやインストールフォルダを変えたいときは[<戻る(B)]をクリックし、変更してください。

17 **ファイルコピーの開始**
DSS Playerが自動的にインストールされますので、しばらくお待ちください。このとき他の作業は行わないでください。

18 **[Install Shield ウィザードの完了]**
[完了]をクリックします。

19 **MP3 JUKEBOXをインストールする**
[カスタム]を選択した方で、DM-1音楽ユーティリティのチェックを外した方は、手順19〜33は必要ありません。手順34に進みます。

20 **[ようこそ]の画面が表示されたら[次へ(N)>]をクリックする**

21 **[製品ライセンス契約]**
MP3 JUKEBOXをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[はい(Y)]をクリックしてください。

22 [ユーザー登録情報]

米国MusicMatch社への登録画面が表示されます。

E-mailアドレスをお持ちの方は、オンライン登録することをおすすめします。

E-mailアドレスをお持ちでない方は、[推奨するオプション]のチェックをすべて外し、お名前と、電子メール欄に「a@a.a」、国名を入力して[次へ(X)>]をクリックします。

ユーザー登録情報

以下の各項目を入力してください。いくつかの項目は入力されなくても結構ですが、すべての項目を入力すると、個人用の音楽情報が提供されます。

プライバシの保護について: 入力された名前、電子メール アドレス等が、許可を得ることなく MusicMatch 社外で使用されることはありません。プライバシに関する方針については、http://www.musicmatch.com/privacy をご参照ください。

年齢 31-40 年齢の明示は 13 歳未満のユーザーのプライバシを保護する米国の法律により規定されています。

* 名前(N):

* 電子メール(E):

* 国(C): 日本

郵便番号(P):

性別 指定なし

推奨するオプション

☑ オンラインで登録する(R)

☑ 音楽関連のニュースとお得な情報を受信する(S)

* 必ず入力してください。

次へ(X) > キャンセル

23 [Net Musicの設定]

Net Musicを使用するときは[はい(推奨)(Y)]を、使用しないときは[いいえ(N)]を選び、[次へ(X)>]をクリックします。

Net Musicの機能、内容については画面をご参照ください。

Net Music の設定

お客様に合わせた音楽とお勧めの内容

インターネットに接続して、このサービスを使用すると、MusicMatch Jukebox をより便利に活用することができます。

このサービスのしくみ:

MusicMatch Jukebox を使用していくつかの曲を聴くと、聴いた曲の情報が MusicMatch サーバーに転送されます。この情報に基いて、MusicMatch Radio は貴方のお好みに合わせたアーティストによる無料の音楽を提供します。また、音楽ガイドはダウンロード可能な無料の音楽へのリンクを提供します。ダウンロードされたファイルは、インターネットに接続しなくても、再生して楽しむことができます。
これらの無料の音楽は、これまでに貴方が聴いた曲に基いて提供されるため、お気に召されることと存じます。

音楽ガイドと MusicMatch Jukebox Radio を使用して、無料のお勧め音楽を受け取りますか?

○ はい(推奨)(Y)

○ いいえ(N)

< 戻る(B) 次へ(X) > キャンセル

24 [インストール オプション]

自分の環境に見合った設定でインストールをしたいときは[カスタム(C)]にチェックを、特に変更がないときは[高速(E)(推奨)]にチェックを入れて[次へ(N)>]をクリックします。

[高速(E)(推奨)]にチェックを入れた場合は、手順30に進みます。

(次頁に続く)

25 **[インストール先の選択]**

MP3 JUKEBOXのインストール先を変更するときは[参照(R)...]を、変更の必要がなければ[次へ(N)>]をクリックします。
変更しない場合は、C:\Program Files\MusicMatch\MusicMatch JUKEBOXとなります。

26 **[音楽データを保存するフォルダの選択]**

音楽データの保存先を変更するときは[参照(R)...]を、変更の必要がなければ[次へ(N)>]をクリックします。
変更しない場合は、C:\My Documents\My Music となります。

27 **[プログラム フォルダの選択]**

スタートメニューに登録する名前を[プログラム フォルダ(P):]に指定し、[次へ(N)]をクリックします。

28 **[MusicMatch Jukebox ショートカット]**

ショートカットは3ヶ所に作成することができます。作成したい場所にチェックを入れて、[次へ(N)>]をクリックします。

29 **[ファイルタイプの登録]**

音楽ファイルに対する関連付けのため、必要な項目にチェックを入れて、[次へ(N)>]をクリックします。
拡張子に合わせてアプリケーションを起動させることを関連付けといいます。

30 **ファイルコピーの開始**

このとき他の作業は行わないでください。

31 **[MusicMatch Jukebox レジストキーの入力]**

ユーザー登録カードに記載されたシリアルナンバーを、ハイフンを含めて半角英数字で入力します。
カードは絶対になくさないよう大切に保管してください。再インストールするときに必要となります。エラーが出る場合は再度確認した上で、もう一度お試しください。

32 **[アップグレードキー]**

アップグレードキーウィンドウが表示されればMP3 JUKEBOXのセットアップは完了です。[OK]をクリックしてください。

33 **[セットアップ完了]**

[MusicMatch JUKEBOXを直ちに実行する]のチェックボックスを外し、[完了(F)]をクリックします。

34 **[Install Shieldウィザードの完了]**

再起動を要求された場合は[はい、今すぐコンピュータを再起動します]を選び、[完了(F)]をクリックします。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを取り除くことをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

1 **DSS PlayerとMP3 JUKEBOXを終了する**

2 **[スタート]メニューより[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]を選ぶ**

3 **コントロールパネルウィンドウ内にある[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする**

4 **インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、[Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア]を選ぶ**

5 **[追加と削除(R)...]をクリックする**
Windows 2000 では[変更／削除]となります。

6 **[ようこそ]の画面が表示されたら[変更]を選択し、[次へ(N)＞]をクリックする**
[削除]を選択すれば、すべてアンインストールできます。

7 **[コンポーネントの選択]**
インストールされているソフトウェアのチェックボックスにチェックが入っていますので、そのチェックを外すことでアンインストールを行います。
アンインストールするソフトウェアのチェックを外してください。
[DM-1 音楽ユーティリティ]のチェックを外すと、MP3 JUKEBOXがアンインストールされます。

8 **[ファイルの削除]**
途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示に従って操作してください。

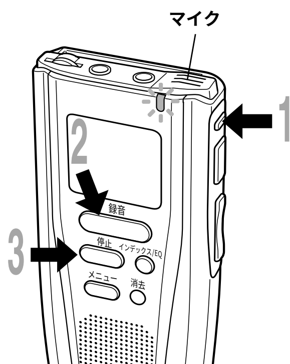
9 **[メンテナンスの完了]の画面が表示されたら[完了]をクリックし、アンインストールを終了する**

ご注意
作成した音楽ファイルはそのまま残りますので、不要な場合はエクスプローラーなどで消去してください。

録音する

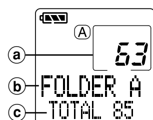
本機のモードスイッチを「音声」に切り替えてから操作してください (P.26〜43)

本機にはA、B、Cの3つのフォルダがあり、各フォルダに録音した音声は1件ごとに「ファイル」として保存されます。Aフォルダはプライベート用、Bフォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。また各フォルダは区別しやすいように名前をつけることができます(→P.40、41)。各フォルダごとに最大199件の用件を録音できます。



1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

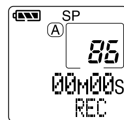
フォルダ名が約2秒間表示されます。



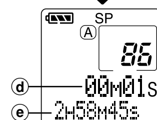
ⓐ 現在のファイル番号
ⓑ フォルダ名
ⓒ フォルダ内に録音済みのファイル総数

2 録音ボタンを押して録音を開始する

録音／再生表示ランプが赤く点灯します。
録音したい方向にマイクを向けます。



3 停止ボタンを押して録音を止める



ⓓ 現在の録音時間
ⓔ 録音可能な残り時間

ご注意

- 録音中に録音可能な残り時間が60秒、30秒、10秒になったときに、「プー」という警告音が鳴ります。
- ディスプレイに「MEMORY FULL」や「FOLDER FULL」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください(→ P.35)。
- DSS Playerを使うと音声ファイルをパソコンに転送して保存しておくことができます(→P.51、52)。

録音に関する操作

一時停止する

録音中に**録音**ボタンを押します。

➥ ディスプレイの「REC PAUSE」が点滅します。

- 録音一時停止のまま 10 分以上過ぎると停止状態になります。

一時停止を解除する

録音ボタンをもう一度押します。

➥ 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認する

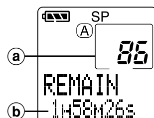
録音中に**再生**ボタンを押します。

➥ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音可能な残り時間を確認する

停止状態で**停止**ボタンを押し続けます。

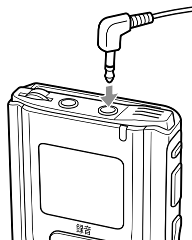
➥ 録音可能な残りの時間がディスプレイに表示されます。



ⓐ フォルダ内に録音済みのファイル総数
ⓑ 録音可能な残り時間

録音中に音を聞くとき(録音モニター)

イヤホンをイヤホンジャックに差し込むと録音中の音声を聞くことができます。この場合、音量は固定になります。



録音に関する設定

特別な設定をしなくても標準的な状態で録音できるように設定されていますが、長時間録音できる LP モードや録音に適したマイク感度切り替え、メモリの節約ができる音声起動録音機能などが設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

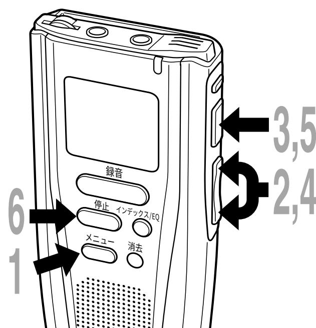
録音モード： SP (標準録音) モード / LP (長時間録音) モード (→ P.30)

マイク感度： 会議 / 口述 (→ P.31)

音声起動録音 (VCVA)： OFF/ON (→ P.28、29)

音声起動録音（VCVA）のしかた

音声起動録音（VCVA）とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。
会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。



1 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります(→P.43)。

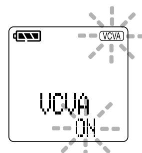
2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してVCVAの設定画面を表示する

3 再生ボタンを押す

VCVAの設定を始めます。

4 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

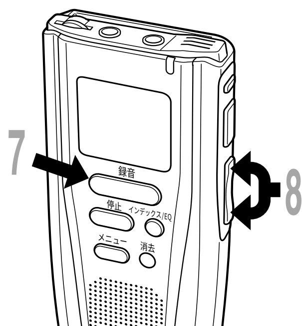
ON…以降は音声起動録音になります。
OFF…通常の録音に戻ります。



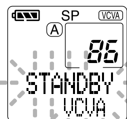
5 再生ボタンを押して設定を完了する

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

「ON」を選択したときはディスプレイ右上の VCVA 表示が点灯します。

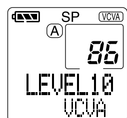


7 録音ボタンを押して録音を開始する



設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「STANDBY VCVA」が点滅します。録音起動中は録音／再生表示ランプが赤く点灯し、一時停止すると点滅します。

8 録音中に早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してVCVA の起動レベルを調節する



ディスプレイ上にVCVA起動レベルが15段階（1～15）で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

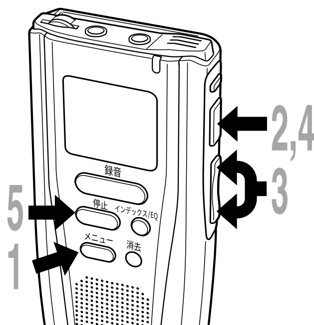
まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の起動感度を調節することができます。
失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。

ご注意

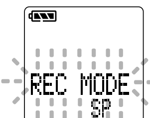
起動レベルは設定されているマイク感度によっても異なります（→ P.31 ）。

録音モード（REC MODE）をかえる

SP モード(標準録音モード)と LP（長時間録音モード）を選ぶことができます。
付属のスマートメディア（32 MB）を使用した場合、SP モードで約 5 時間 5 分、LP モードで約 11 時間の録音が可能です。

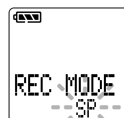


1 メニューボタンを押す
ディスプレイに「REC MODE」が表示されます(→P.43)。



2 再生ボタンを押す
録音モードの設定を始めます。

3 早送り/＋または早戻し/−ボタンを押して「SP」か「LP」を選ぶ



4 再生ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

会議や講演会などをはっきりと録音したい場合は、SP モードに設定して録音してください。

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音することができます。



マイクジャックに外部マイクや他の外部機器を接続する

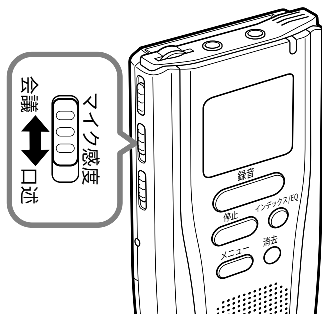
使用目的に合わせてマイクなどのアクセサリー（別売）をご使用ください（→ P.87）。

ご注意

- マイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機では入力レベルの調節はできません。レコーダーやチューナーなどの外部機器を接続するときは試し録音をして外部機器の出力レベルを調節してください。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。

マイク感度をかえる

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えることができます。



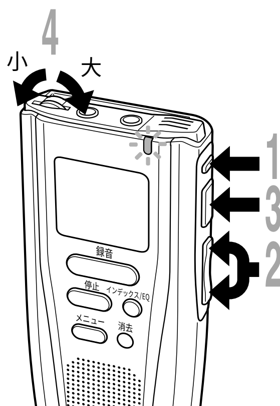
マイク感度スイッチで「会議」か「口述」を選ぶ

会議 ...... 周囲の音も録音できる高感度モード
口述 ...... 口述録音に適した通常感度モード

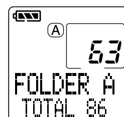
ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は口述モードにして、本機の内蔵マイクロホンと話し手の口を近づけて（5〜10cm）録音してください。
- 口述モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合は単一指向性マイクロホンME12（別売）のご使用をおすすめします。

再生する

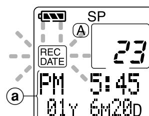


1 **フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ**



2 **早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して**＊**再生したいファイルを選ぶ**

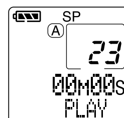
ファイルを録音した日時が約2秒間表示されます。



ⓐ **選択したファイルの録音日時**

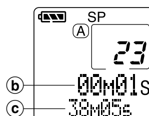
3 **再生ボタンを押して再生を開始する**

録音／再生表示ランプが緑色に点灯します。





4 **音量つまみを調節して聞きやすい音量にする**



ⓑ **再生中のファイルの経過時間**
ⓒ **再生中のファイルのトータル時間**

1 つのファイルを再生し終わると自動的に停止します。

＊ 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押し続けると連続してファイルの頭出しをします。

ご注意

音声モードではすべてモノラル再生になります。

再生に関する操作

再生中に音声ファイルの頭出しをする

再生中に**早送り / +**ボタンを押します。
➡ 次のファイルの頭出しをして*、再生を始めます。

再生中に**早戻し / −**ボタンを押します。
➡ 再生中のファイルの頭出しをして*、再生を始めます。

再生中に**早戻し / −**ボタンを 2 回押します。
➡ 1 つ前のファイルの頭出しをして*、再生を始めます。

* 途中にインデックスマーク（→P.39）がついているときは、インデックスマークの位置で再生を始めます。

早聞き再生する

停止状態か再生中に**再生**ボタンを 1 秒以上押します。
➡ 通常の再生速度の約1.5倍の早さで再生します。

- 早聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマークの挿入（→P.39）などの操作ができます。
- 早聞き再生を停止した場合、次の再生は通常の再生速度に戻ります。

早聞き再生を解除する

もう一度**再生**ボタンを 1 秒以上押します。
➡ 通常の再生速度に戻ります。

キュー（音を聞きながら早送り）

再生中に**早送り / +**ボタンを押し続けます。

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。早送り / +ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭からキューを続けます。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているとインデックスマークでいったん停止しますが、早送り / +ボタンを押し続けるとキューを続けます。

キューを解除する

聞きたいところでボタンを離します。
➡ 再生を始めます。

レビュー（音を聞きながら早戻し）

再生中に**早戻し / −**ボタンを押し続けます。

- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。早戻し / −ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりからレビューを続けます。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているとインデックスマークでいったん停止しますが、早戻し / −ボタンを押し続けるとレビューを続けます。

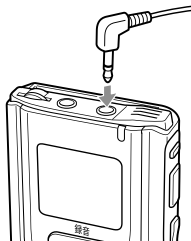
レビューを解除する

聞きたいところでボタンを離します。
➡ 再生を始めます。

再生を中止する

再生または**停止**ボタンを押します。
➡ 現在再生しているファイルの途中で停止します。

イヤホンで聞くとき



イヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。
イヤホンを接続するとスピーカーから音は出ません。

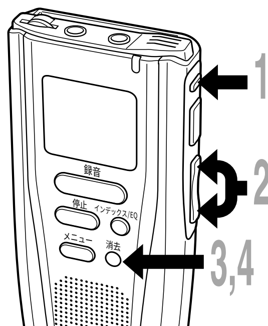
ご注意

- 再生中イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- 音声モードではモノラル再生になります。

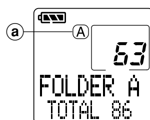
消去する

ファイルを 1 件ずつ消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。



1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

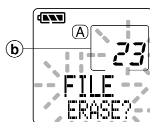


ⓐ 現在のフォルダ

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ

3 消去ボタンを押す

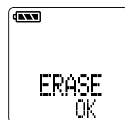
「FILE ERASE?」が約8秒間点滅します。



ⓑ 消去したいファイル

4 「FILE ERASE?」が点滅中にもう一度消去ボタンを押す

ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



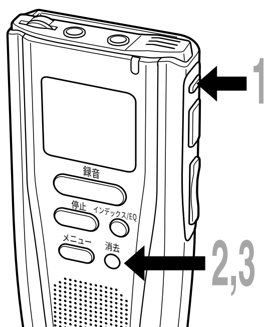
「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

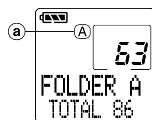
- 「FILE ERASE?」が点滅してから 8 秒以内に消去ボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルは消去されません（→ P.37）。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態では消去できません（→ P.19）。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。
ただし消去ロック設定のあるファイルは消去されません（→ P.37）。



1 フォルダボタンを押して全ファイルを消去したいフォルダを選ぶ



ⓐ 消去したいフォルダ

2 消去ボタンを3秒以上押す

「ALL ERASE?」が約8秒間点滅します。



3 「ALL ERASE?」が点滅中にもう一度消去ボタンを押す

ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。
消去ロックの設定されているファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。

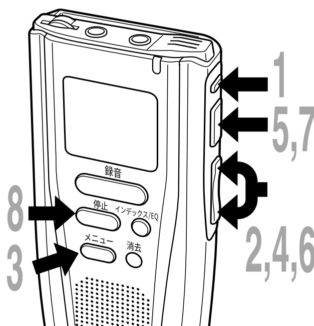
ご注意

- 「ALL ERASE?」が点滅してから 8 秒以内に消去ボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間はスマートメディアを取り出さないでください。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態では消去できません（→ P.19）。

音声
消去する

誤消去を防止（LOCK）する

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（→ P.36）。

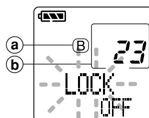


1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去ロックをかけたいファイルを選ぶ

3 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(→P.43)。

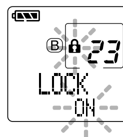
4 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去ロックの設定画面を表示する



ⓐ 現在のフォルダ
ⓑ 消去ロックをかけたいファイル

5 再生ボタンを押す
消去ロックの設定を始めます。

6 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ
ON…消去ロックがかかります。
OFF…消去ロックが解除されます。



7 再生ボタンを押して設定を完了する

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

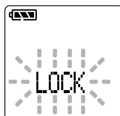
ご注意

- 本機でかける消去ロックとパソコンで設定できるリードオンリー（読み取り専用）とは異なります。
- 消去ロックをかけたファイルでも、スマートメディアを初期化（FORMAT）した場合は消去されます。

消去ロックの設定ができない場合

スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるときは、消去ロックの設定ができません。

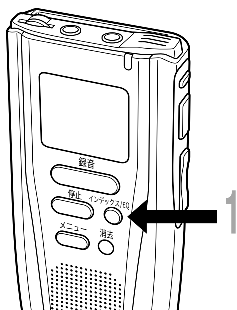
その場合は、消去ロックのメニュー画面に「LOCK」のみ点滅し、ファイル番号やフォルダ名は表示されません。



このとき再生ボタンを押すと「🔒 CARD 」と表示されます。

インデックスマークをつける

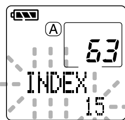
1 つのファイル内で聞きたい位置をすばやく探すことができるように、インデックスマークをつけることができます。インデックスマークがあると、再生中に早送り / ＋または早戻し / －ボタンを操作することで、すばやく聞きたい位置から再生できます。



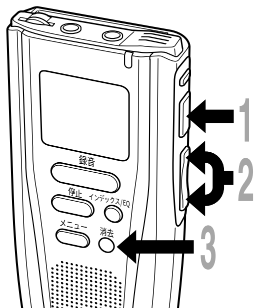
インデックスマークをつける

1 録音中または再生中にインデックスボタンを押してインデックスマークをつける

ディスプレイにインデックス番号が表示され、インデックスマークがつきます。



インデックスマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスマークをつけることができます。



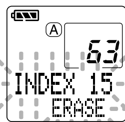
インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)に消去ボタンを押す

インデックスマークが消去されます。



消去したインデックスマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

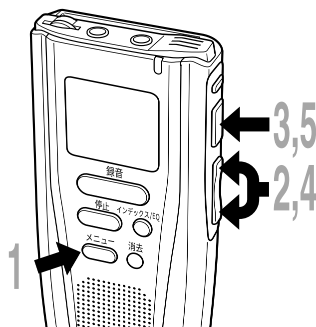
ご注意

- インデックスマークは 1 つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスマークをつけようとすると、「INDEX FULL」の表示が出ます。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるときは、インデックスマークを消去できません。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスマークを消去できません。

フォルダ名（FOLDER NAME）をつける

3 つのフォルダに 8 文字以内の名前をつけることができます。
購入時の設定ではそれぞれのフォルダ名は次のようになっています。

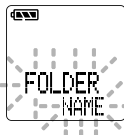
[A]フォルダ→ FOLDER A　[B]フォルダ→ FOLDER B　[C]フォルダ→ FOLDER C



1 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります(→P.43)。

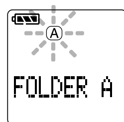
2 早送り/＋または早戻し/−ボタンを押してフォルダ名の設定画面を表示する



3 再生ボタンを押す

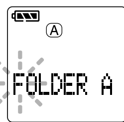
フォルダ名の設定を始めます。

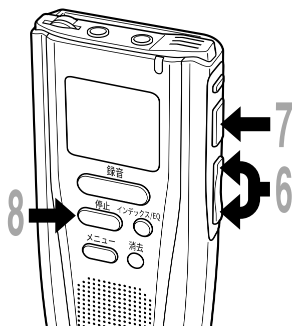
4 早送り/＋または早戻し/−ボタンを押して名前をつけるフォルダを選ぶ



5 再生ボタンを押して名前をつけるフォルダを確定する

現在のフォルダ名の先頭の文字が点滅します。





6 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して文字を選ぶ

文字は「A～Z」「0～9」「スペース（空欄）」を選ぶことができます*。

再生ボタン ……………… 文字を決定し次の文字へ移動します。
フォルダボタン ………… 1つ前の文字に戻ります。
消去ボタン ……………… 点滅中の文字を消去します。
インデックスボタン …… 点滅中の文字の前に１文字挿入します。

7 フォルダ名を入力し終わったら再生ボタンを1秒以上押し続ける

新しいフォルダ名の入力を完了します。
（他のフォルダの名前を続けて入力したいときは再生ボタンを押して、手順4から設定を始めます。）

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

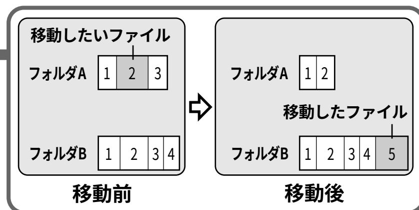
＊ DSS Playerを使用して、アルファベット小文字（a～z）とカタカナ（ア～ン）などの文字も書き込めます（→ P.56）。

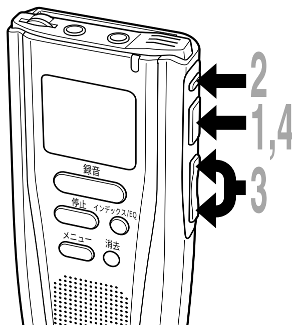
ご注意

- 8 文字目を決定すると自動的に入力を完了します。
- スマートメディアが挿入されていないとフォルダ名は変更できません。

ファイルを移動する

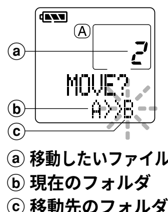
録音したファイルを別のフォルダに移動することができます。
移動したファイルは移動先のフォルダの一番最後に加えられます。





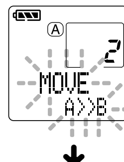
1 移動させたいファイルを選び再生ボタンを押して再生する

2 再生中にフォルダボタンを押す
再生が停止してディスプレイに移動先のフォルダが点滅します。

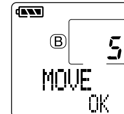


ⓐ 移動したいファイル
ⓑ 現在のフォルダ
ⓒ 移動先のフォルダ

3 早送り/＋または早戻し/ーボタンを押して移動先のフォルダを選ぶ
移動先にもとのフォルダを選ぶと、そのフォルダ内で一番最後にファイルが移動します。



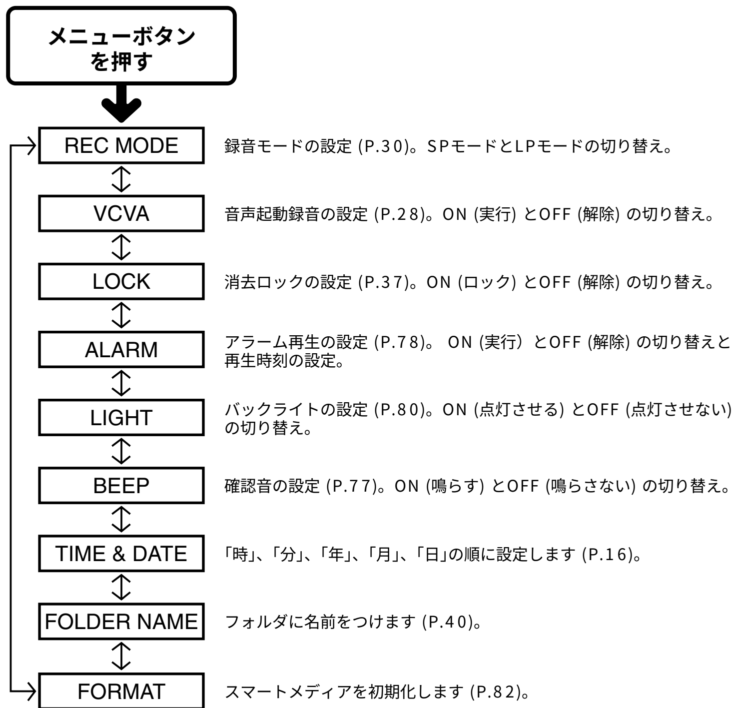
4 再生ボタンを押して移動先のフォルダを確定する
移動が完了します。



ご注意

- 移動先のフォルダの録音件数が最大（199）のときは、ディスプレイに「FOLDER FULL」と警告表示され、移動できません。
- 移動先のフォルダを選ぶとき、停止ボタンを押すか、8秒間操作をしないとファイル移動を中止します。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態ではファイル移動できません。

メニューの一覧（音声レコーダー編）



ご注意

- メニューの設定中に停止ボタン、録音ボタン、メニューボタンを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

↕：早送り/＋または
早戻し/－ボタンを押す

DSS Playerを使う

本機はパソコンと接続し、DSS Playerを使うことで次のようなことができます。

- パソコンで音声ファイルを再生する
- 音声ファイルを電子メールに添付して声のメールとして送る*
- スマートメディアの音声ファイルをハードディスクにバックアップしたり、パソコンから本機にファイルを転送する

* 本商品に電子メールソフトは同梱しておりません。

パソコン上でスマートメディアを取り扱うときの注意事項

●パソコンではスマートメディアを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化したスマートメディアは、本機では読み書きできません。初期化は、本機またはオリンパス製デジタルカメラ「CAMEDIA」で行ってください(→P.82)。

●本機または付属のDSS Playerで設定できるフォルダ名は、本機またはDSS Playerで有効です。Microsoft Windowsに付属の「エクスプローラ」などのファイル管理ツールで表示されるフォルダ（ディレクトリ）名とは異なりますのでご注意ください。

●「エクスプローラ」などのファイル管理ツールを使用して、スマートメディア内のフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

●パソコン上の操作でスマートメディアのフォルダをリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。

ここではDSS Playerの基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプはDSS Playerのインストール後から使用できます。

オンラインヘルプを使う

オンラインヘルプを表示するには、次のいずれかを行ってください。

- ［スタート］メニューから［プログラム（P）］→［Olympus DSS Player 4 for DM-1］→［ヘルプ］を選択する。
- DSS Playerを起動した状態で、［ヘルプ（H）］メニューから［トピックの検索（C）］を選択する。
- DSS Playerを起動した状態で、キーボードの［F1］キーを押す。

目次から検索する場合

1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の📚をダブルクリックする

選択項目のタイトルが表示されます。

3 検索したい項目の❓をダブルクリックする

選択項目の説明が表示されます。



キーワードで検索する場合

1 オンラインヘルプを表示させてから、キーワードのタブをクリックする

検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 文字を入力する

自動的に検索されます。

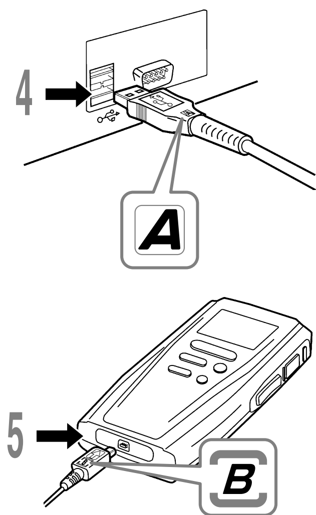
3 項目を選択して［表示(D)］をクリックする

選択項目の説明が表示されます。



パソコンに接続する

本機の接続は、必ず DSS Player をインストールしてから行ってください。インストールする前に本機を接続すると［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。その場合は［キャンセル］ボタンでウィザードを中断し、DSS Player のインストールを行ってください。
パソコンと接続すれば、付属の USB 接続ケーブル（CB-USB1）より電源が供給されますので、本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。



パソコンに接続する

1 **スマートメディアを奥まで確実にセットする(→P.18)**

2 **本機の電源／ロックスイッチを「入」にする**

3 **ホールドスイッチを解除する**

4 **USB接続ケーブルのA側をパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する**

5 **本機が停止していることを確認し、USB接続ケーブルのB側を本機のパソコン接続端子に接続する**

USB接続中は、本機のディスプレイに「REMOTE」が表示されます。

REMOTE

パソコンから外す

Windows 98/98 SE の場合

1 **本機の録音／再生表示ランプが点滅していないことを確認し、マイコンピュータ上のリムーバブルディスクアイコンを右クリックし、[取り出し(J)]を選ぶ**

2 **USB接続ケーブルを外す**

Windows Me/2000 の場合

1 **画面右下のタスクバーの をクリックし、[USBディスクードライブ(E:)の停止]をクリックする**

Windows 2000では[USB大容量装置デバイスードライブ(E:)を停止します]と表示します。
お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 **ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら[OK]をクリックする**

3 **USB接続ケーブルを外す**

ご注意

- 録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、USB 接続ケーブルを抜かないでください。データやスマートメディアが破損する可能性があります。
- パソコンの USB ポートまたは USB ハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続ケーブルは、必ずパソコン本体の USB ポートまたはセルフパワー（AC アダプタ接続）の USB ハブに接続してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。

DSS Playerを起動する

ここではDSS Playerをインストールしたことを前提に説明しています。
インストールする前に本機を接続すると［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。その場合は［キャンセル］ボタンでウィザードを中断し、DSS Playerのインストールを行ってください。

1 Windowsを起動する

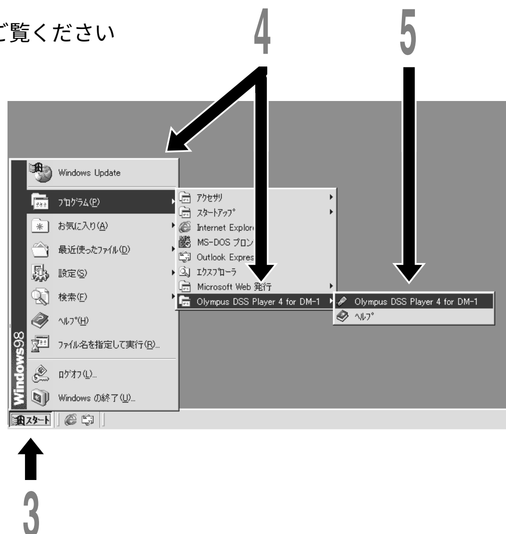
2 本機をパソコンに接続する
接続方法は､｢パソコンに接続する｣をご覧ください
(→P.46)。

3 ［スタート］ボタンをクリックする

4 ［プログラム(P)］→［Olympus DSS Player 4 for DM-1］の順に選ぶ

5 ［Olympus DSS Player 4 for DM-1］をクリックする

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください(→ P.47)。



ご注意

複数のDSS Playerを同時に起動させることはできません。

自動起動について

本機をパソコンに接続すると自動的にアプリケーションを起動させることができます。
DSS PlayerをインストールしたかたはDSS Playerが自動起動する設定となります。
DM-1 音楽ユーティリティをインストールした方は、DSS Playerの有無に関わらず、MP3 JUKEBOXが自動起動される設定となります。

自動起動は次の3通りの設定ができます。

- DSS Playerを自動起動する
- MP3 JUKEBOXを自動起動する
- 自動起動させない

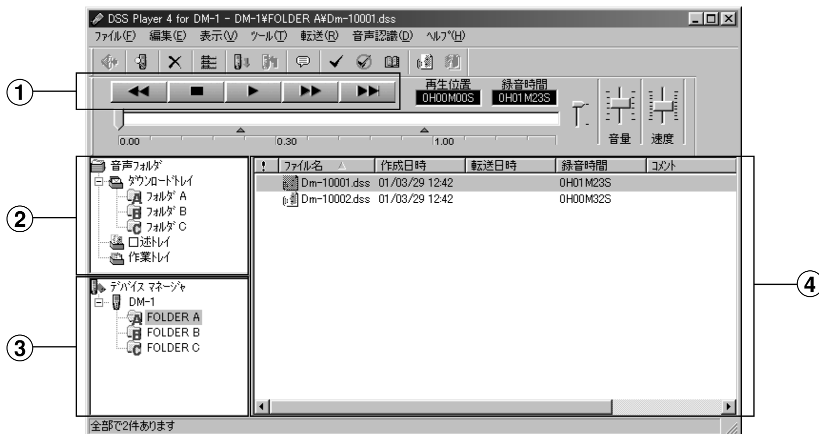
自動起動の設定をかえる場合

1 画面右下のタスクバーのを右クリックし、[自動検出アプリケーション]をクリックする

2 自動起動させるソフトウェアにチェックを入れる

チェックを入れたアプリケーションが自動起動する設定となります。
自動起動させない場合はチェックを外してください。

ウィンドウのなまえ（DSS Player）



DSS Player 起動時のメイン画面です。

① 再生コントロールバー

音声ファイルの再生や、停止など操作を行うボタンが配置されています。

② 音声フォルダウィンドウ

パソコン内のDSS、WAVE 形式ファイルが入ったフォルダを階層表示します。

③ デバイスウィンドウ

本機内のフォルダを階層表示します。

④ 音声ファイル一覧ウィンドウ

②、③ で選択されているフォルダ内の音声ファイルを表示します。

録音した音声をパソコンに取り込む

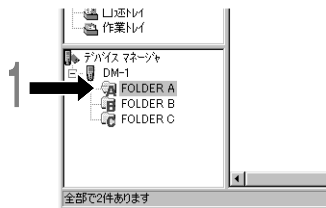
本機から音声ファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。DSS Playerでは、音声ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の 3 つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  1 つ、または複数の音声ファイルを選択してパソコンに取り込みます。
- フォルダのダウンロード
  フォルダ内にあるすべての音声ファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのダウンロード
  ダウンロードアイコン をクリックし、本機にあるすべての音声ファイルをパソコンに取り込みます。

ここでは「選択ファイルのダウンロード」について説明します。「フォルダのダウンロード」や「すべてダウンロード」については、オンラインヘルプをご覧ください。

選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ
デバイスウィンドウでダウンロードしたい音声ファイルが入ったフォルダを選びます。図では、FOLDER A が選択されています。



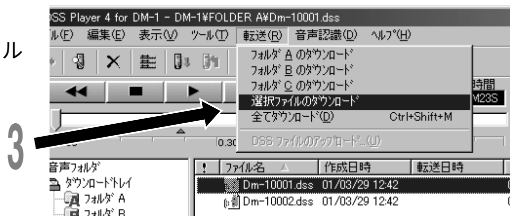
2 音声ファイルを選ぶ
音声ファイル一覧ウィンドウからダウンロードしたい音声ファイルを選択します。複数選択する場合は、［Ctrl］キーまたは［Shift］キーを押しながら選びます。図では1つのファイルが選択されています。



（次頁に続く）

3 音声ファイルをダウンロードする

［転送(R)］メニューから［選択ファイルのダウンロード］をクリックします。



4 ダウンロードの完了

通信中の画面が消え、本機の録音／再生表示ランプが消えたらダウンロードの完了*です。

＊めやすとして、通信中の画面が消えてから5秒以上(Windows2000は12秒以上)でダウンロードの完了です。



5 通信終了処理

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください(→P.47)。

ご注意

- 録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、USB接続ケーブルを抜かないでください。データやスマートメディアが破損する可能性があります。
- 音声ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
（例）32MB をフル録音した音声ファイルで約 3 分 (MMX Pentium 166 MHz の場合) かかります。
- ダウンロード先は、本機のフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
（例）本機のフォルダ A からダウンロードした音声ファイルは、パソコン上のダウンロードトレイ［A］に保存されます。
- 同じ音声ファイル名がすでにあるときは、録音日時が異なる場合のみ別のファイル名で保存されます。

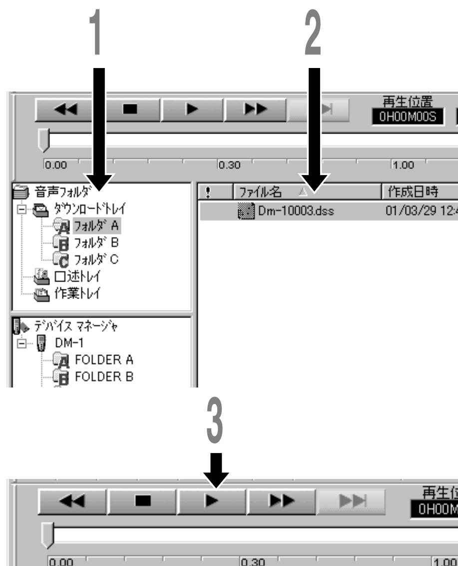
音声ファイルを再生する

1 フォルダを選ぶ

再生したい音声ファイルが入っているフォルダを選びます。
図では取り込み済みの音声ファイルを指定するため、音声フォルダウィンドウのフォルダAを選択しています。

2 音声ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから再生したい音声ファイルを選びます。
図では「Dm-10003.dss」ファイルが選択されています。



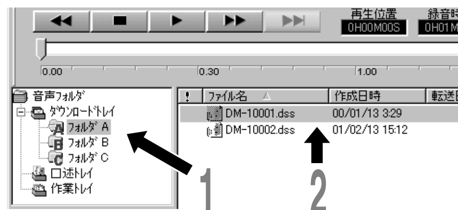
3 音声ファイルを再生する

再生コントロールバーの再生ボタンを押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

音声ファイルを本機に転送する

DSS Player には、パソコンにある DSS 形式音声ファイルを本機に転送（アップロード）する機能があります。



1 フォルダを選ぶ

音声フォルダウィンドウから､転送したい音声ファイルの入っているフォルダを選びます。

2 音声ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから､転送したい音声ファイルを選びます。

3 転送先フォルダを選ぶ

［転送(R)］メニューから［DSSファイルのアップロード］を選択､またはアップロードアイコンをクリックします｡転送先フォルダ一覧のウィンドウが表示されたら､転送先フォルダを選びます。

4 音声ファイルを転送する

音声ファイルが本機に転送されます。

5 アップロードの完了

通信中の画面が消え､本機の録音／再生表示ランプが消えたらアップロードの完了*です。

＊ めやすとして､通信中の画面が消えてから5秒以上(Windows2000は12秒以上)でアップロードの完了です。

6 通信終了処理

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください(→P.47)。

音声ファイル一覧ウィンドウから転送したい音声ファイルを選び、音声フォルダウィンドウのフォルダにドラッグ＆ドロップ (マウスの左ボタンを押したまま移動し、移動先でボタンを離す) して転送することもできます。

ご注意

- 録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、USB接続ケーブルを抜かないでください。データやスマートメディアが破損する可能性があります。
- 本機のフォルダ内に、同じ名前のファイルがある場合は転送できません。

音声ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルをお使いのメールソフトに添付して送信することができます。
メール送信方法の詳細については、お使いのメールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- メールの受信相手に DSS Player がなくても、DSS Player-Lite を使えば音声ファイルを再生できます。DSS Player-Lite はオリンパスホームページ、http://www.olympus.co.jp から無償でダウンロードできます。

1 DSS Playerを起動する

2 お使いのメールソフトを起動し、新規メールを作成する画面を選ぶ

3 音声ファイルを添付する

DSS Playerの音声ファイル一覧ウィンドウから添付したい音声ファイルを選び、新規メールを作成する画面の本文欄にドラッグ＆ドロップします。

ご注意

上記の操作に対応していないメールソフトの場合は、メールソフトからファイル添付機能により、音声ファイルのあるフォルダから目的の音声ファイルを選択してください。
フォルダの初期設定は C:\Program Files\Olympus\DSS Player4\FolderA（または B、C）になります。

フォルダ名を変更する

音声フォルダウィンドウのフォルダ名を変更する

［ファイル］メニューの［フォルダ名の変更］コマンドを使用することで、フォルダ名を変更できます。フォルダ名は、半角で 20 文字まで入力可能ですが、半角の ¥/:*?"<>| は入力できません。

デバイスウィンドウのフォルダ名を変更する

変更するフォルダ名を右クリックし［フォルダ名の変更］を選び、フォルダ名を入力します。変更したフォルダ名は本機に挿入されているスマートメディア内のフォルダ名に反映されます。

デバイスウィンドウのフォルダ名として使用可能な文字は、半角英数字（#$@[]¥￣|’^{} を除く）と半角カタカナで、8 文字以内です。

音声認識ソフトを使う（別売）

市販されているIBM社の「ViaVoice」またはジャストシステム社の「Voice 一太郎」といっしょにお使いになると、本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送し、文字変換させることができます。詳細については音声認識ソフトの取扱説明書をご覧ください。

本機との対応が確認されている音声認識ソフトは下記のとおりです。（2001 年 6 月現在）

日本 IBM 社

- ViaVoice 98 Friendly Speak
- ViaVoice ミレニアム（プロ / スタンダード）
- ViaVoice PRO ver.8

ジャストシステム社

- Voice 一太郎 9　10 万本記念版以降
- Voice 一太郎 10 e-Talk
- Voice 一太郎 11

今後リリースされるソフトウェアの対応状況については、弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください（→ P.90 ）。
また、これらのソフトウェアを本機との組み合わせでご使用になる場合は、お使いのパソコンでの動作を各ソフトのメーカーにご確認ください。

- 音声認識ソフトViaVoice に関するお問い合わせは、ViaVoice 製品に同梱されている「IBM PC ソフトウェア・サービスのご案内」にしたがって日本アイ・ビー・エム株式会社の窓口でサポートをお受けください。その際、必要に応じて本製品に同梱されている「IBM テクニカルサポート ID 番号」をお伝えください。
- Voice 一太郎に関するお問い合わせは、Voice 一太郎製品に同梱されているガイド「まずはじめにお読みください」にしたがって、株式会社ジャストシステムの窓口でサポートをお受けください。

入力デバイスの設定

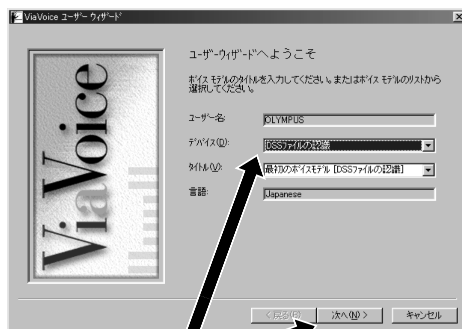
本機で録音した音声ファイル（DSS 形式）を音声認識させるためには、音声認識ソフトで本機用の入力デバイスを設定する必要があります。
ここではViaVoiceを使った音声認識について説明しています。まず、ViaVoiceに同梱されているヘッドセットマイクでマイク入力のクイックトレーニングを行った後、以下の手順にしたがい設定してください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]→[IBM ViaVoice VoiceCenter]の順に選ぶ

2 [IBM ViaVoice VoiceCenter]の[ViaVoice]ボタンから[ツール]、[エンロール]を選ぶ

3 ViaVoice ユーザーウィザード画面の表示

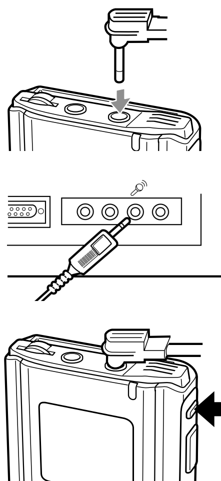
[デバイス] のリストボックスから[DSSファイルの認識]を選択して[次へ]をクリックします。



4 オーディオセットアップ画面の表示

表示される手順にしたがってセットアップを行ってください。

- 本機を使ってオーディオセットアップやエンロールをするときは、付属の PC 接続ケーブル(KP4) をお使いください。
- PC接続ケーブルのL字型プラグを本機のイヤホンジャックに入れ、まっすぐなプラグをパソコンのマイクジャックに差し込んでください。
- オーディオセットアップやエンロール中に音声入力をすることがあります。本機のフォルダボタンを押している間だけマイクがオンになり、音声が入力できます。その間、本機のディスプレイに「TRAIN PC」が表示されます。



5 ユーザーウィザードエンロール画面の表示

オーディオセットアップとクイックエンロールが終了すると、ユーザーウィザードエンロール画面が表示されます。
[エンロールは後で行う]か[エンロールを開始する]のいずれかを選び、[次へ]をクリックします。
[エンロールは後で行う]を選択するとユーザーウィザードは終了し、[エンロールを開始する]を選択すると引き続きエンロールが行われます。

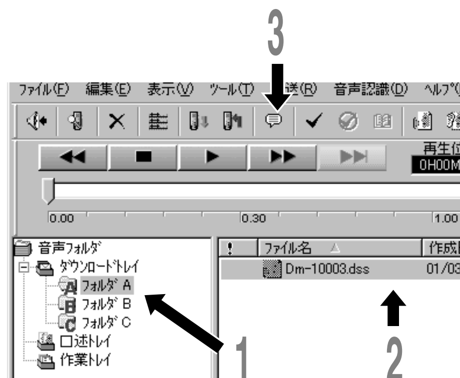
本機や音声ファイルを使用して音声認識を行う前に、本機を使った環境のエンロールを行うことをおすすめします。これによりあなたの声の特徴が登録され、認識率を向上させることができます。

音声認識させる

1 フォルダを選ぶ
音声フォルダウィンドウから、音声認識させたい音声ファイルの入っているフォルダを選びます。

2 音声ファイルを選ぶ
音声ファイル一覧ウィンドウから、音声認識させたい音声ファイルを選びます。

3 音声認識の開始
音声認識開始アイコン をクリックします。
音声認識ソフトのウインドウが表示され、音声認識が開始されます。



変換した文字の修正など、音声認識ソフトの機能については音声認識ソフトの取扱説明書をご覧ください。

音声認識を目的とした録音について

本機を使用して、音声認識を目的とした録音をするときは、次のようなことに十分注意して録音してください。

- マイク感度スイッチを「口述」にする
- 録音モードを「SP」に設定する
- 音声起動録音（VCVA）モードを「OFF」にする
- 音声認識ソフトに声を登録した1人の話し手が録音する
- 比較的静かな環境で録音する
- 本機の内蔵マイクと話し手の口を近づけて（5 ～ 10cm）録音する
- 一定の話しかたで録音する

次のような条件で録音したファイルは認識率が低く、音声認識にはお使いいただけません。

- 複数の人の声が録音される、会議や座談会など
- まわりの雑音も録音されやすい、講演会や講義など

音楽プレーヤーとして楽しむ

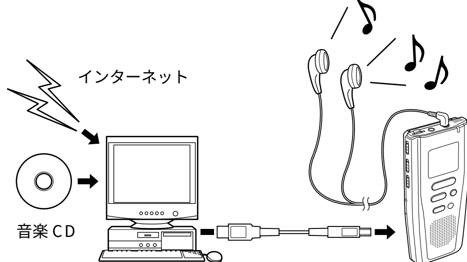
本機は音楽プレーヤーとして、スマートメディアに取り込んだMP3やWMA形式の音楽ファイルを再生することができます。音楽ファイルを本機に取り込むには、付属のMP3 JUKEBOXをご使用ください。

音楽再生用ファイルについて

本機でMP3やWMA形式の音楽ファイルを再生するには音楽再生用ファイル（→P.88）が必要です。「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をインストール（→P.20～24）した後、本機をパソコンに接続すると自動的に音楽再生用ファイルがスマートメディアに転送されます。万一、消去してしまった場合や、スマートメディアを初めてご使用になる場合は、必ず本機をパソコンに接続してください（→P.46）。

MP3 JUKEBOXを使う

MP3 JUKEBOXを用いれば、音楽CDやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機へ転送し、音楽を再生することができます。
その他にもさまざまな機能があります。詳細はMP3 JUKEBOXのオンラインヘルプおよびRead meファイル（[スタート]→[プログラム(P)]→[MusicMatch]内）をご覧ください。



著作権について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたMP3ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

Microsoft エンドユーザー・ライセンス契約

お買いあげになった製品には、Microsoft Licensing Inc. またはその系列会社（以下「Microsoft」）からオリンパス光学工業（以下オリンパス）によってライセンスされたソフトウェアが含まれています。インストールされている Microsoft のソフトウェア製品、関連メディア、印刷物、オンラインやソフトウェアは、著作権法と国際著作権条約さらに知的所有物法と条約によって保護されています。このソフトウェアの使用する権利を受けるだけで、販売できる権利をあたえるられるものではありません。このエンド・ユーザー・ライセンス契約（以下「EULA」）に同意しない場合は、製品を使用したりソフトウェアをコピーすることはできません。オリンパスに連絡して、未使用の製品を返品し返金を受けるための指示をうけてください。製品の使用を含めるが、それに限定されないいかなる方法でソフトウェアを使用した場合も、お客様がこの EULA に同意（または以前の同意を承認）したこととみなされます。

ライセンスの許諾

このソフトウェアは使用する権利を受けるだけで、販売できる権利を与えられるものではありません。この EULA は、このソフトウェアに関する次の権利を許諾します。

このソフトウェアはこの製品でのみ使用することは許可されます。

非障害許容

このソフトウェアは障害許容ではありません。オリンパスはこの製品でこのソフトウェアを独自の方法で使用しており、Microsoft はこのソフトウェアがそのような使用に適していることを確認するために十分なテストを実施することをオリンパスに一任しています。

ソフトウェアに対する保証なし

このソフトウェアは、誤りを含めて「そのまま」提供されるものです。満足できる品質、性能、正確さ、取り扱い（過失のないこと）はすべてお客様の責任です。また、ソフトウェアの享受の妨害および違反に対する保証も一切いたしません。お客様がこの製品またはソフトウェアに対する保証を受け取った場合は、その保証は Microsoft から発行されたものではなく、Microsoft は拘束されません。

Java のサポートについて

このソフトウェアには Java で書かれたプログラムのサポートが含まれています。Java テクノロジは障害許容ではなく、核設備、航空機操縦、通信システム、航空トラフィック・コントロール、直接生命維持装置、兵器システムなど、Java テクノロジの障害が直接死亡、人身障害、重大な人体または環境上の損害につながる可能性のあるような、フェイルセーフ性能が要求される危険な環境でのオンライン制御装置として、設計、製造、あるいは使用または小売りを意図されたものではありません。Sun Microsystems, Inc. は Microsoft との契約上この責任の否認を行う義務があります。

特定の損害に対する責任の否認

法律で禁止されている場合を除き、Microsoft はこのソフトウェアの使用または性能に関連した間接、特別、必然的、あるいは偶発的な損害に対し、一切責任を負いません。この制限は、法的救済がその主目的を達成できなかった場合にも適用されます。

リバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブルの制限

お客様は、この制限にかかわらず適合する法律によって明示的に許可されている場合にその範囲内で許可されることを除き、このソフトウェアをリバースエンジニア、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

ソフトウェアの譲渡の制限付き許可

お客様は、この製品の永久的な売り渡しまたは譲渡の一部としてのみこの EULA に規定されている権利を永久的に譲渡することができます。なお、これは受領者がこの EULA に同意する場合に限ります。ソフトウェアがアップグレードの場合は、そのソフトウェアの譲渡には旧バージョンをすべて含む必要があります。

輸出制限

お客様は、このソフトウェアまたはそのいかなる部分、あるいはこのソフトウェアから直接生じるプロセスまたはサービスが米国産であることに同意します。米国輸出管理規制、米国および各国政府のエンド・ユーザー、エンド使用、輸出先を含む、該当する国際および国内法すべてを尊守することに同意します。Microsoft 製品の輸出についての詳細は、www.Microsoft.com/exporting/ を参照してください。



ウィンドウのなまえ（MP3 JUKEBOX）



プレーヤー

① メニューバー
② ディスプレイ
③ プレーヤー コントロールボタン
④ ボリュームコントロール
⑤ メディア ウィンドウ
⑥ プレイリスト ウィンドウ

ミュージックライブラリ

⑦ プレ再生ボタン
⑧ ミュージックライブラリ コントロールボタン
⑨ カテゴリ

レコーダーウィンドウ

⑩ ディスプレイ
⑪ レコーダーコントロールボタン
⑫ トラックコントロールボタン
⑬ トラック情報

インターネットに接続した状態で音楽CDをCDドライブに入れると、CDデータベースへアクセスし、レコーダーウィンドウにCDDBのマークが表示される場合があります。
詳細はMP3 JUKEBOXのオンラインヘルプをご覧ください。

音楽ファイルを本機に転送する

ここでは「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をインストールしたことを前提に説明しています。インストールする前に接続すると［新しいハードウェアの検出ウィザード］の画面が表示されます。その場合は［キャンセル］ボタンでウィザードを中断し、インストールを行ってください。

1 Windowsを起動する

2 本機をパソコンに接続する

接続方法は、「パソコンに接続する」をご覧ください(→P.46)。
本機を接続するとMP3 JUKEBOXが自動起動します。
自動的に起動しない場合は、次の手順を行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックする
② ［プログラム(P)］→［MUSICMATCH］の順に選ぶ
③ ［MUSICMATCH JUKEBOX］をクリックする

3 マイライブラリに表示されている音楽ファイルをダブルクリックしてプレイリストに保存する

音楽ファイルが再生されたら、プレイリストのSTOPボタンを押してください。

4 メニューバーの[File]→[外部デバイスへ送る]→[プレイリストをOLYMPUS DM-1にダウンロード中...]をクリックする

5 転送可能なファイルウィンドウに表示されている音楽ファイルを選択し、[プレーヤーに転送]ボタンをクリックする

通信中の画面が消え、本機の録音／再生表示ランプが消えたらダウンロードの完了*です。

＊ めやすとして、通信中の画面が消えてから5秒以上(Windows2000は12秒以上)でダウンロードの完了です。



音楽

6 通信終了処理

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください(→P.47)。

試しにサンプル音楽を本機に転送する

① C:\My Documents\My Music内の「If You 're Gone (Clip).mp3」をプレイリストに追加する
② メニューバーの[File]→[外部デバイスへ送る]→[プレイリストをOLYMPUS DM-1にダウンロード中...]をクリックする
③「If You 're Gone」を選び、[プレーヤーに転送]ボタンをクリックする

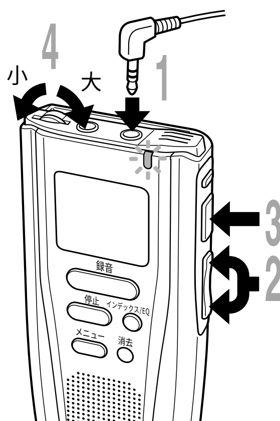
MP3 JUKEBOXを自動起動させたくないときは設定を変更できます。設定を変更する場合は「自動起動について」をご覧ください(→P.49)。

ご注意

- MP3 JUKEBOXではタイトルやアーティスト名の日本語表記に対応しておりますが、本機では未対応です。詳細は67ページの「ご注意」をご覧ください。
- 録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、USB接続ケーブルを抜かないでください。データやスマートメディアが破損する可能性があります。
- スマートメディアはID付きをご使用ください。

音楽を再生する

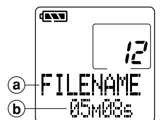
本機のモードスイッチを「音楽」に切り替えてから操作してください （P.66～76）



1 ステレオイヤホンをイヤホンジャックに差し込む

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して*再生したい音楽ファイルを選ぶ。

ファイル名とその曲の曲長が表示されます。曲長表示は約2秒後、「 00m00s 」表示にかわります。

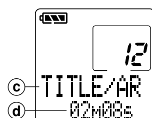


ⓐ 選択中のファイル
ⓑ 選択中のファイルの曲長

3 再生ボタンを押して再生を開始する

録音／再生表示ランプが緑色に点灯し、タイトル／アーティスト名が左にスクロールします。

（例）タイトルを「TITLE」、アーティスト名を「ARTIST」と入力した場合、「TITLE/ARTIST」表示がスクロールします。



ⓒ 再生中のタイトル／アーティスト名
ⓓ 現在の再生時間

4 音量つまみを調節して聞きやすい音量にする

1 曲を再生し終わると次の曲が自動的に再生されます。

＊ 早送り / ＋または早戻し / －ボタンを押し続けると連続してファイルの頭出しをします。

ご注意

- 本機で再生可能なファイルのビットレートはMP3、WMA 形式ともに 32kbps ～ 160kbps です。
- 64kbpsよりも低いビットレートのファイルを再生すると、ディスプレイの時間表示が正常に働かない場合があります。
- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換させる）のファイル再生も可能ですが、ディスプレイの時間表示が正常に働かない場合があります。
- イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- イヤホンを接続していない場合は本機スピーカーから音が出ますがモノラル再生となります。
- ファイル名、タイトル／アーティスト名が、ひらがな､漢字などの全角文字で入力されている場合、またはタイトル／アーティスト名の両方が入力されていない場合はディスプレイに「UNKNOWN」が表示されます。
- タイトル／アーティスト名は半角英数字（ #$@[]¥¯|'^{}を除く）と半角カタカナが表示可能です。
- ファイル名は半角英数字（ #$@[]¥¯|'^{}を除く）と半角カタカナが表示可能です。(アルファベットの小文字で入力されている場合は大文字で表示されます）
- ファイル名が9文字以上の場合は表示が省略されます。（例）FILE ABCDE → FILE A~1
- タイトルとアーティスト名は各 30 文字まで表示可能です。

再生に関する操作

再生中に曲の頭出しをする

再生中に**早送り / +**ボタンを押します。

➡ 次の曲の頭出しをして再生を始めます。

再生中に**早戻し / −**ボタンを押します。

➡ 再生中の曲の頭出しをして再生を始めます。

再生中に**早戻し / −**ボタンを 2 回押します。

➡ 1つ前の曲の頭出しをして再生を始めます。

早送りをする

再生中に**早送り / +**ボタンを押し続けます。

➡ 曲の終わりまで進んで次の曲の先頭で停止します。

早送りを解除する

聞きたいところでボタンを離します。

➡ 再生を始めます。

早戻しをする

再生中に**早戻し / −**ボタンを押し続けます

➡ 曲の先頭まで戻って再生を始めます。

早戻しを解除する

聞きたいところでボタンを離します。

➡ 再生を始めます。

再生を中止する

再生または**停止**ボタンを押します。

➡ 現在再生している曲の途中で停止します。

- 停止中に停止ボタンを押すと、その間ファイル形式とビットレートが表示されます。

いろいろな再生のしかた

イコライザー（音質）を選ぶ

停止中または再生中に **EQ**（イコライザー）ボタンを押すたびに、次の順で切り替わります。

→ FLAT → ROCK → POP → JAZZ → USER

ユーザーイコライザー（USER EQ）では、お好みのイコライザー特性を登録できます（→P.74）。

- EQ（イコライザー）ボタンを押してから 2 秒間操作しないと通常表示に戻ります。

リピート再生・ランダム再生をする

停止中または再生中に**リピート**ボタンを押すたびに、次の順で切り替わります。

→ 通常再生→ 1 曲リピート再生 → 全曲リピート再生 → ランダムリピート再生 → ランダム再生

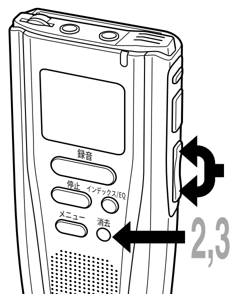
機能	説明	ディスプレイ表示
通常再生	すべての曲を再生後に停止	表示無し
1 曲リピート再生	1 曲を繰り返し再生	(リピート1アイコン)
全曲リピート再生	すべての曲を繰り返し再生	(リピートアイコン)
ランダムリピート再生	すべての曲をランダムに繰り返し再生	(リピートアイコン) RANDOM
ランダム再生	すべての曲をランダム再生後に停止	RANDOM

- リピートボタンを押してから 2 秒間操作しないと通常表示に戻ります。

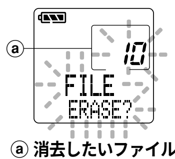
音楽ファイルを消去する

1 曲ずつ消去する

選んだ音楽ファイル（曲）だけを消去できます。



1 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ



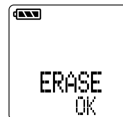
ⓐ 消去したいファイル

2 消去ボタンを押す

「FILE ERASE?」が約8秒間点滅します。

3 「FILE ERASE?」が点滅中にもう一度消去ボタンを押す

ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

すべての曲を消去する

すべての音楽ファイル（全曲）を消去できます。



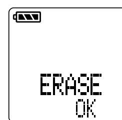
1 消去ボタンを3秒以上押す

「ALL ERASE?」が約8秒間点滅します。



2 「ALL ERASE?」が点滅中にもう一度消去ボタンを押す

ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



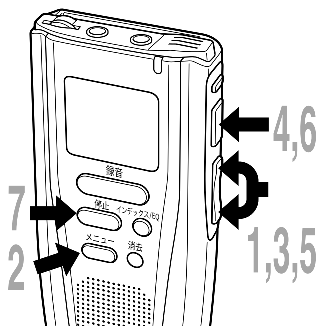
「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。

ご注意

- 「FILE ERASE?」「ALL ERASE?」が点滅してから 8 秒以内に消去ボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルは消去されません（→ P.70）。
- 消去ロックの設定されているファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間はスマートメディアを取り出さないでください。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態では消去できません（→ P.19）。

誤消去を防止（LOCK）する

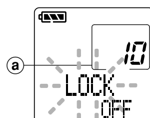
音楽ファイル（曲）に消去ロックをかけることにより、誤消去を防止できます。
また、全消去を行っても消去されません（→ P.69）。



1 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去ロックをかけたい曲を選ぶ

2 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(→P.76)。

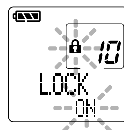
3 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して消去ロックの設定画面を表示する



ⓐ 消去ロックをかけたいファイル

4 再生ボタンを押す
消去ロックの設定を始めます。

5 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ
ON…消去ロックがかかります。
OFF…消去ロックが解除されます。



6 再生ボタンを押して設定を完了する

7 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

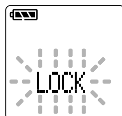
ご注意

消去ロックをかけた曲でも、スマートメディアを初期化（FORMAT）した場合は消去されます。

消去ロックの設定ができない場合

スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるときは、消去ロックの設定ができません。

その場合は、消去ロックのメニュー画面に「LOCK」のみ点滅し、ファイル番号やフォルダ名は表示されません。

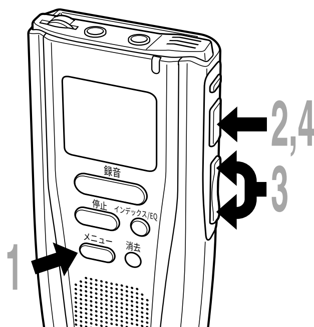


このとき再生ボタンを押すと「🔒 CARD 」と表示されます。

臨場感（WOW effect）を高める

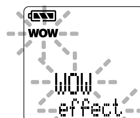
本機は音楽の臨場感を高めるための音響技術である **WOW** を搭載しています。音楽のジャンルやお好みに合わせ、サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ 4 段階にレベル調整できます。

サラウンド効果（SRS 3D）......... 音のひろがり感やクリア感を高めることができます。
バス効果（TruBass）.................... 低音域をより豊かにできます。



1 メニューボタンを押す

ディスプレイに「WOW effect」が表示されます(→P.76)。



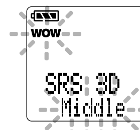
2 再生ボタンを押す

サラウンド効果「SRS 3D」の設定を始めます。

3 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してサラウンド効果のレベルを選ぶ

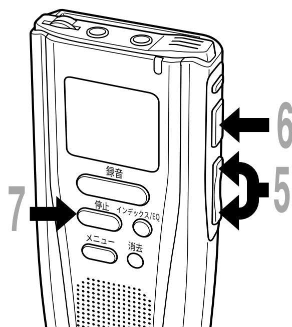
→ OFF ↔ Low ↔ Middle ↔ High ←

の順で切り替わります。

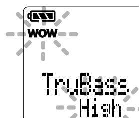


4 再生ボタンを押して、お好みのサラウンド効果を確定する

バス効果「TruBass」の設定を始めます。



5 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してバス効果のレベルを選ぶ



→ OFF ↔ Low ↔ Middle ↔ High ←

の順で切り替わります。

6 再生ボタンを押して、お好みのバス効果を確定する

7 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

他のメニューを設定したい場合は停止ボタンを押さずに再生ボタンを1秒以上押し続けます。

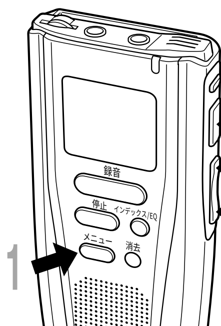
音を聞きながらWOWのレベルをかえたいときは、再生中にメニューボタンを押して、手順 3 から設定を始めます。

ご注意

- WOWの初期設定はサラウンド効果、バス効果ともにOFFとなっています。
- 再生中のWOW設定は8秒間ボタン操作がされないと通常再生に戻ります。
- サラウンド効果、バス効果のどちらかでも設定されていると、ディスプレイに「**WOW**」が表示されます。
- ビットレートが 32kbps 以下の音楽ファイルでは WOW の効果は弱くなります。
- 曲により、WOWの効果が強調され、ノイズのように聞こえる場合があります。そのときは WOW の効果を調整してください。

ユーザーイコライザー（USER EQ）を登録する

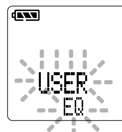
USER EQ の設定をかえると、お好みのイコライザー特性を登録できます。



1 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります(→P.76)。

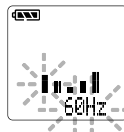
2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してユーザーイコライザーの設定画面を表示する



3 再生ボタンを押す

周波数帯域(Hz)選択を始めます。

4 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して周波数帯域を選ぶ

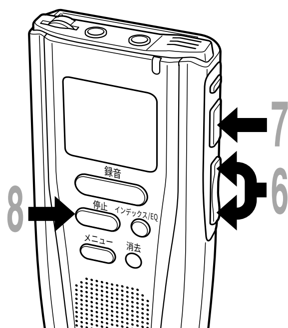


低音←――→高音

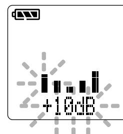
→60Hz↔250Hz↔1kHz↔4kHz↔12kHz←

の順で切り替わります。

5 再生ボタンを押して変更したい周波数帯域を確定する



6 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してレベルを選ぶ



レベルの設定を始めます。
－15dBから15dBまで、1dBごとに切り替わり、数字が大きいほど強調されます。
初期設定は0dBになっています。

7 再生ボタンを押してお好みのレベルを確定する

他の周波数帯域を変更する場合は、引き続き早送り/＋または早戻し/－ボタンを押し、手順４から設定を始めます。

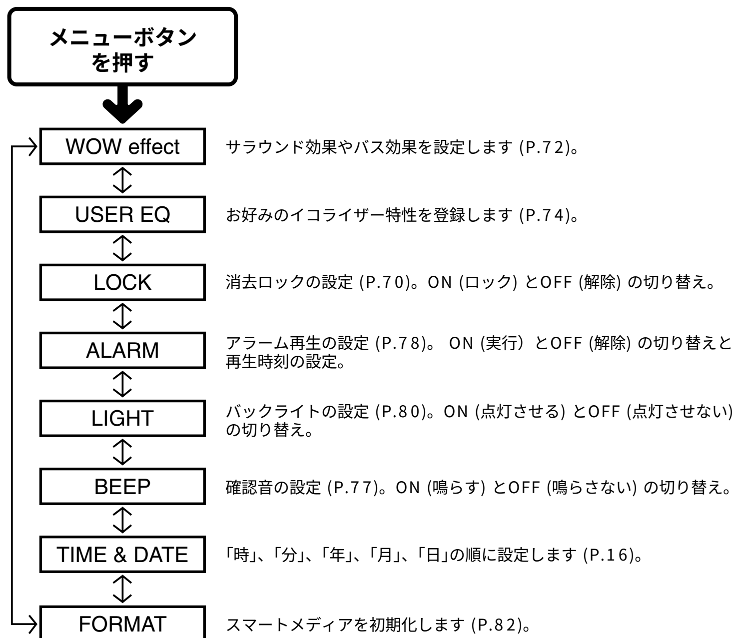
8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

他のメニューを設定したい場合は、停止ボタンを押さずに再生ボタンを1秒以上押し続けます。

ご注意

- USER EQ の初期設定は FLAT になっています。
- 登録した USER EQ の設定は、電池交換やリセットを行なっても保存されています。

メニューの一覧（音楽プレーヤー編）



ご注意

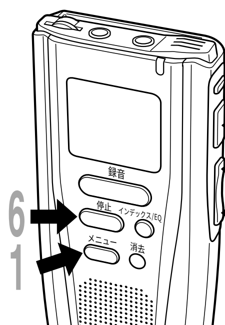
- メニューの設定中に停止ボタン、録音ボタン、メニューボタンを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

↕：早送り/＋または
早戻し/－ボタンを押す

確認音（BEEP）について

音声モード・音楽モードに共通する便利な機能です （P.77〜82）

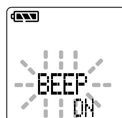
本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときに BEEP 音が鳴ります。
BEEP 音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。



アラーム再生が設定されている場合はBEEP音の設定がOFFでも、設定時刻にアラーム音が鳴ります。

1 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(→P.43、76)。

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してBEEP音の設定画面を表示する



3 再生ボタンを押す
BEEP音の設定を始めます。

4 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ



5 再生ボタンを押して設定を完了する

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

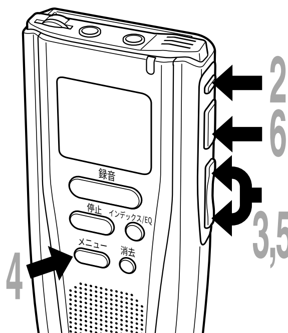
BEEP 音の種類

音	内容
ピッ	再生や録音の開始、表示の切り替え
ピピッ	各種の設定、スマートメディアやUSB コネクタの挿入
プップッ	録音の一時停止
ププッ	再生や録音の停止、頭出しの停止、連続頭出しの停止
プッ	頭出し

音	内容
ポッ	前のファイルへの頭出し
ピピピピッ	誤操作の警告
ププーププー	操作の終わり
ピーピーピー…	アラーム再生
プー	録音可能な残り時間がわずかなときの警告（→ P.26）

アラーム再生（ALARM）を使う

アラーム再生とは設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。



1 モードスイッチで「音楽」か「音声」を選ぶ

2 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

モードスイッチを「音楽」にした場合はフォルダの選択はありません。→手順3へ

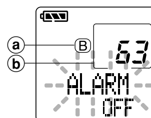
3 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してアラーム再生したいファイルを選ぶ

4 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります（→P.43、76）。

5 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してアラーム再生の設定画面を表示する

以下の図は音声ファイルをアラーム設定した場合です。



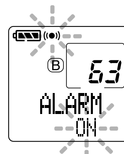
ⓐ 現在のフォルダ
ⓑ アラーム再生したいファイル

6 再生ボタンを押す

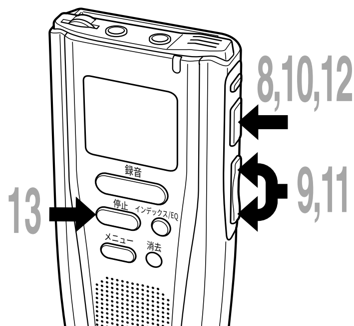
アラーム再生の設定を始めます。

7 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」を選ぶ

ON…アラーム再生をします。
OFF…アラーム再生を解除します。

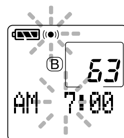


アラーム再生を使う



8 再生ボタンを押して確定する

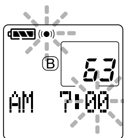
「時」が点滅します。
「OFF」を選択するとアラーム再生の設定を中止し、アラーム表示は消えます。
→手順13へ



9 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「時」を設定する

10 再生ボタンを押して確定する

「分」が点滅します。



11 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「分」を設定する

12 再生ボタンを押して設定を完了する

13 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

アラーム再生時刻になると「ピーピー・・・」とアラーム音が鳴り出します。アラーム音が鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、設定したファイルが再生されます。

ご注意

- アラーム再生は 1 つのファイルのみ設定できます。
- アラーム再生の設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラーム再生するファイルをかえる場合は、一度アラームの設定を「OFF」にしてから、再度設定を行なってください。
- アラームは鳴り始めて 5 分たつと止まります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作している場合は、操作後アラームが鳴り出します。
- ホールドになっていても、アラーム再生の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。この場合はホールド中でもいずれかのボタンを押すと設定したファイルの再生を始めます。
- 設定したファイルを消去したり、スマートメディアを抜いてしまったときは、アラーム再生の設定が解除されます。
- 電源／ロックスイッチが「切」のときは設定時刻になってもアラーム再生をしません。

アラーム音のみ鳴らしたいとき

設定した時刻にアラーム音のみ鳴らしたいときは、スマートメディアを抜いた状態か、選択したフォルダのファイル数が 0 件の状態で設定します。

- アラーム再生の設定の手順 4（→ P.78）から設定を始めます。
- 設定時刻になってアラーム音が鳴ったとき、いずれかのボタンを押すと止まります。

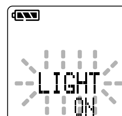
バックライト（LIGHT）について

本機はボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 15 秒間点灯します。
バックライト機能を使う、使わないは選択できます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります（→P.43、76）。

2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してバックライトの設定画面を表示する



3 再生ボタンを押す

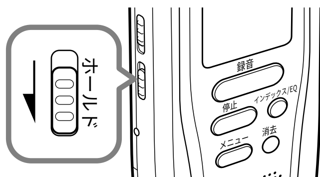
バックライトの設定を始めます。

4 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

5 再生ボタンを押して設定を完了する

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

誤操作を防止する－ホールド（HOLD）機能

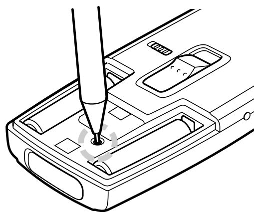


ホールドにすると現在の状態を保ち、ボタンやスイッチ操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。
使用するときは必ずホールドスイッチを解除してください。

ご注意

- 停止状態でホールドにすると時計表示になります。このときいずれかのボタンを押すと、時計表示が約 2 秒間点滅しますが、動作しません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生(録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）
- 録音、再生中にホールドにしても、以下の操作はできます。
  — マイク感度スイッチによるマイク感度切り替え
  — ボリュームつまみによる音量調節
- ホールド中でもアラーム再生（→ P.78、79）の設定時刻になるとアラームが鳴り出します。このときはホールド中でもボタンの操作ができます。

リセットについて



万一、操作中にディスプレイや動作に異常が発生した場合には、電池が入った状態で電池室にあるリセットボタンをボールペンなどの先端で軽く押してください。

ご注意

- 針など、先のとがったもので押さないでください。
- リセットボタンを押すと、自動的に日付・時刻の設定になります。確認してからもう一度設定してください（→ P.16、17）。
- リセットしても音声ファイルや音楽ファイルは消去されません。

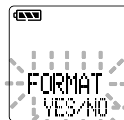
スマートメディアを初期化（FORMAT）する

初期化とはスマートメディアを本機で書き込みできるフォーマットに変えることです。オリンパス製以外の機器で使用したスマートメディアや、本機で操作できなくなったスマートメディアは初期化をしてください。本機に付属のスマートメディアやオリンパス製スマートメディアは初期化済みですので、ご購入後すぐに使えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面に入ります(→P.43、76)。

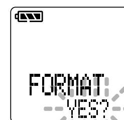
2 早送り/＋または早戻し/－ボタンを押してフォーマットの設定画面を表示する



3 再生ボタンを押す

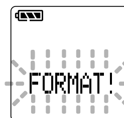
初期化を設定します。

4 早送り/＋または早戻し/－を押して「YES?」を選ぶ

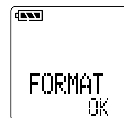


5 もう一度再生ボタンを押す

表示が点滅して初期化を開始します。







「FORMAT OK」が表示されたら初期化完了です。

本機またはオリンパス製デジタルカメラ「CAMEDIA」以外では絶対に初期化しないでください。
パソコンや一部の MP3 プレーヤーなどを用いると、スマートメディアが使えなくなることがあります。

ご注意

- 手順 4 のあと 8 秒間何も操作しない場合は手順 2 に戻ります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある場合は初期化できません。
- 初期化されていないスマートメディアを入れた場合は自動的に「FORMAT YES?」と表示されます。

リーダ／ライタとして使う

音声レコーダーや音楽プレーヤーとしての使いかたの他に、本機は外付け型のスマートメディアリーダ／ライタとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
本機とパソコンを接続すれば、スマートメディアのデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータをスマートメディアに保存することが可能です。

- Windows 98/98 SEをお使いの場合は、あらかじめ「Voice-Trek DM-1 ユーティリティーソフトウェア」をインストールする必要があります。

たとえば、エクスプローラでパソコンのデータをスマートメディアにコピーする

1 **Windowsを起動する**

2 **本機をパソコンに接続する**
接続方法は、「パソコンに接続する」をご覧ください(→P.46)。

3 **エクスプローラを起動する**
本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

4 **データをコピーする**
データの読み書きやコピーなど、アクセス中は本機の録音／再生表示ランプが点滅します。

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください（→ P.47）。

ご注意
録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、USB接続ケーブルを抜かないでください。データやスマートメディアが破損する可能性があります。

警告表示一覧

表示	意味	詳細	解決方法
BATTERY LOW	電池残量警告	電池残量がない	新しい電池に交換してください（→ P.14）
🔒 CARD	誤消去防止警告	誤消去防止シールが貼ってあるスマートメディアに記録や消去をしようとした	誤消去防止シールをはがしてから操作をやり直してください（→ P.19）
CARD ERROR	未対応スマートメディア挿入警告	本機に未対応のスマートメディアが挿入された	本機に合ったスマートメディアを使ってください(→P.10)
CONNECT to PC	音楽再生用ファイル無し警告	音楽ファイルに対応した音楽再生用ファイルがスマートメディア内にない	本機とパソコンを USB 接続してください（→ P.46）
EJECT ERROR	スマートメディアの取り出しエラー	動作中にスマートメディアを抜いた	スマートメディアを入れ直してください
FOLDER FULL	ファイル最大数警告	フォルダ内のファイル件数が最大数（199）になっている	必要のないファイルを消去するか、または別のスマートメディアをお使いください
FORMAT ERROR	初期化エラー警告	初期化中に問題があった	スマートメディアを入れ直し、初期化してください（→ P.82）
INDEX FULL	インデックスマーク最大数警告	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使っている	必要のないインデックスマークは消去してください（→ P.39）
INSERT CARD	カード無し警告	スマートメディアが入っていない	スマートメディアを入れてください（→ P.18）
LICENCE MISMATCH	著作権保護不一致	著作権保護の ID が一致しない	MP3 JUKEBOX を使用して、本機に音楽ファイルをコピーしてください（→ P.64）
🔒 LOCK ON	消去ロック警告	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした	消去ロックを解除してください（→ P.37、70）
MEMORY FULL	メモリ残量ゼロ警告	挿入されているスマートメディアのメモリ残量がない	必要のないファイルを消去するか、または別のスマートメディアをお使いください
NO FILE	ファイル無し警告	フォルダ内にファイルがない	フォルダを選び直してください

警告表示一覧

表示	意味	詳細	解決方法
READONLY	**記録不可能警告**	スマートメディアに異常がある	データのバックアップをとって(→P.54)、スマートメディアを初期化してください
SAME FILE	**ファイル移動不可能警告**	移動先のフォルダに同じファイル名*のファイルがある	違うフォルダにファイルを移動してください

＊ 本機では録音時にファイル管理上内部でファイル名がつけられます。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない	電池の⊕、⊖を確かめてください
	電池が消耗している	電池を交換してください
	電源／ロックスイッチが入っていない	電源／ロックスイッチを「入」にしてください
	思い当たらない	本機をリセットしてください（→ P.81）
操作できない	ホールドがかかっている	ホールドを解除してください（→ P.81）
	スマートメディアが初期化されていない	初期化してください（→ P.82）
	電池が消耗している	電池を交換してください
録音できない	スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある	シールをはがしてください
	スマートメディアが初期化されていない	初期化してください
	メモリ残量がない	必要のないファイルを消去するか、または別のスマートメディアをお使いください
	ファイル番号が最大記録件数になっている	別のフォルダを確認してみてください
	音楽プレーヤーモードになっている	モードスイッチを「音声」に切り替えてください

症状	考えられる原因	対処方法
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている	内蔵スピーカーでの再生時はイヤホンをはずしてください
	音量つまみが“０”になっている	音量つまみを調節してください
消去できない	消去ロックがかかっている	消去ロックを解除してください（→ P.37、70）
	スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある	シールをはがしてください
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした	—
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置いている	操作時に本機の位置を変えてみてください
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い	マイク感度を「会議」にしてもう一度録音してみてください
インデックスマークがつけられない	インデックスマーク件数が最大（16 件）になっている	必要のないインデックスマークは消去してください（→ P.39）
	スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある	シールをはがしてください
	消去ロックがかかっている	消去ロックを解除してください（→ P.37、70）
AC アダプタで動作しない	専用でないアダプタで操作した	専用アダプタ（別売）をご利用ください
スマートメディアが取り出せない	電源／ロックスイッチが「入」になっている	電源／ロックスイッチを「切」にしてください
ダウンロードした音楽ファイルがない	ダウンロード先のフォルダがスマートメディアのルートフォルダ以外である	ルートフォルダに音楽ファイルをコピーしてください
	音声レコーダーモードになっている	モードスイッチを「音楽」に切り替えてください
録音した音声ファイルがない	音楽プレーヤーモードになっている	モードスイッチを「音声」に切り替えてください
	録音したフォルダではない	フォルダボタンでフォルダを切り替えてください

マルチデコードシステムについて

本機は、将来的に音楽データの圧縮方式が進歩した場合や、別の形式の音楽ファイルが主流となった場合でも、ソフトウェアをバージョンアップ* することで再生が可能となるマルチデコードシステムを採用しています。
本機は予告なくバージョンアップ*する場合があります。最新の情報はオリンパスのホームページ http://www.olympus.co.jp をご覧ください。

* バージョンアップの時期や方法については現在のところ未定です。

アクセサリー（別売）

スマートメディア 4*、8*、16、32、64、128MB：M-4*/8*/16/32/64/128 P/PI
オリンパスデジタルカメラ CAMEDIA 用 3（3.3）V スマートメディアが使用できます。

PC カードアダプタ：MA-2
PC カードスロットまたは PC カードドライブがあるパソコンではファイルを読み込むことができます。

エレクトレットコンデンサーマイクロホン：ME11**
タイピン型の無指向性マイクロホンです。付属のクリップを使ってマイクロホンをご自身の洋服のえりなどにつけることができます。ご自身の声や近くの人の声を録音する場合に使用します。

単一指向性マイクロホン：ME12（口述録音用マイク）
周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

AC アダプタ：A324
国内専用の AC アダプタです。

コネクティングコード：KA232**
ラジオなどのイヤホンジャック（モノラルタイプ）と本機のマイクロホンジャックを接続して、ラジオの音声を録音する場合に使用します。

プラグアダプタ：PA3
ミニミニプラグ（φ 2.5）をミニプラグ（φ 3.5）用のジャックに接続するためのプラグアダプタです。ミニミニプラグを備えたマイクロホンなどを、本機のマイクロホンジャックに接続する場合に必要です。

* デジタル音楽プレーヤーとしてお使いの場合は、音楽データの著作権保護の関係上、ID 機能がない 4 MB と 8 MB のスマートメディアはご使用になれません。
** これらのアクセサリーは、プラグアダプタ PA3 といっしょにご使用ください。

用語の説明

用語	意味
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
スマートメディア	本機で使用しているメモリカードのことです。
メモリ	本機ではスマートメディアのことを指します。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音楽ファイル	MP3（MPEG1､2 Audio Layer 3）、WMA（Windows Media Audio）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
音楽再生用ファイル	音楽ファイルを再生するために必要なファイルです。付属のソフトをインストールしたパソコンに本機を接続すると自動的にカードにコピーされます。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。 本機にはA、B、Cの 3 つフォルダがあり、各フォルダごとに 199 件のファイルが録音できます。
SSFDC フォーラム	スマートメディアの規格、標準化を進める団体の名称です。
キュー	早送り再生のことです。
レビュー	早戻し再生のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。 標準的な音質が得られる SP モードと長時間録音できる LP モードがあります。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
アラーム再生	指定した時刻にアラーム音が鳴り、アラーム音が鳴っている間にボタンを押すと設定したファイルを再生する機能です。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
フォーマット	スマートメディアを本機で使えるようにすることです。初期化とも言います。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。 接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。
デコード	圧縮された音楽データを再生できるようにすることです。

主な仕様

デジタル音声レコーダー部

記録形式 デジタルスピーチスタンダード（DSS）形式
規定入力レベル －70dBv
サンプリング周波数
SP モード：12kHz
LP モード：8kHz
総合周波数特性 SP モード：300～5,000Hz
LP モード：300～3,000Hz
記録時間 SP モード：約 5 時間 5 分
LP モード：約 11 時間
（付属の 32 MB スマートメディア使用時）
電池持続時間（録音）
約 11 時間（アルカリ乾電池使用時で当社試験法による）
（再生）
約 8 時間（アルカリ乾電池使用時で当社試験法による）

デジタル音楽プレーヤー部

対応データ形式 WMA、MP3 形式（マルチデコードシステム採用）
サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性 20～20,000Hz
記録時間 ビットレート160 kbps: 約 25 分
ビットレート128 kbps: 約 30 分
ビットレート 96 kbps：約 42 分
ビットレート 64 kbps：約 60 分
（付属の 32 MB スマートメディア使用時／音楽データのビットレートにより異なります）
ヘッドホン最大出力
5mW＋5mW（16Ω 負荷時）
電池持続時間 約 8 時間（アルカリ乾電池使用時で当社試験法による）

共通仕様部

記録媒体 3 (3.3) V スマートメディア 4～128 MB（ID 機能のないカードは、音楽プレーヤーにはご使用になれません）
カードフォーマット SSFDC フォーラムに準拠するスマートメディアフォーマット
スピーカー φ 28mm 丸型ダイナミックスピーカー内蔵
マイクジャック φ 3.5mm 小型ジャック、インピーダンス 2kΩ
イヤホンジャック φ 3.5mm 小型ジャック、インピーダンス 8Ω 以上
スピーカー実用最大出力（DC3V）
180mW 以上（スピーカー 8Ω）
電源 定格電圧：3V
電池　：単 4 形乾電池 2 本（LR03 または R03）
外部電源：AC アダプタ
外形寸法 109.5 × 50.0 × 16.7mm（最大突起部含まず）
質量 86g（電池含む）
同梱品 本体
32 MB スマートメディア
ステレオイヤホン (E30)
アルカリ単 4 形乾電池 × 2
専用ケース
USB 接続ケーブル（CB-USB1）
PC 接続ケーブル（KP4）
CD-ROM
取扱説明書（保証書付）
クイックマニュアル
愛用者カード
オリンパスサービスステーションリスト
ソフトウェア使用許諾契約書
シリアルナンバー
・IBM テクニカルサポート ID 番号
・ユーザー登録のご案内（MP3 JUKEBOX）

＊本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。
＊電池持続時間は使用電池・使用条件により大きく変ります。

＜アフターサービスについて＞

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。

● **本機およびDSS Playerに関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel：0426（42）7499
Fax：0426（42）7486
サポート時間　AM 9：30－PM 5：00
（土、日、祝祭日、弊社定休日を除きます）
〒192－8507　東京都八王子市石川町2951

下記のアクセスポイントにお電話いただきますと、オリンパスカスタマーサポートセンターに転送されます。アクセスポイントまでの電話料金はお客様のご負担となります。

＜アクセスポイント＞

【東　京】0426－42－7499
【札　幌】011－231－2338
【仙　台】022－218－8437
【新　潟】025－245－7343
【松　本】0263－36－2413
【静　岡】054－253－2250
【名古屋】052－201－9585
【金　沢】076－262－8259
【大　阪】06－6252－0506
【高　松】087－834－6180
【広　島】082－222－0808
【福　岡】092－724－8215
【鹿児島】099－222－5087
【沖　縄】098－864－2548

オリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp でICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

デジタルオリンパスサイト
http://www.digital-olympus.comでICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の製品情報を提供しております。

● **MP3 JUKEBOX に関するお問い合わせは**
株式会社 住友金属システムソリューションズ
ソフトウェアプロダクト部 SMI Softサポートセンター
Tel：03（5815）7257
Fax：03（5815）7262
サポート時間　AM 10：00－AM 12：00
PM　1：00－PM　4：30
（土、日、祝祭日を除きます）
http://www.smisoft.com/
〒110－0008　東京都台東区池之端1丁目2番18号　池之端市松ビル

● 製品の修理に関してはお買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。

● なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は当社サービスステーションに依頼してください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、別紙の最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。
4. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
6. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ．本書のご提示がない場合。
   - ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルナンバー、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ．電池等の消耗品による故障。
7. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス光学工業株式会社
〒163-8610 東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	ボイストレック	型名	DM-1
ボディーNo.		お買い上げ日	年 月 日
お客様	住所 〒 TEL 氏名 様		
販売店名			

無 効

D1-2788-02